



ターミナルアダプタを使うにはISDN回線の申込みが必要です。最寄りのNTTにお申込みください。また、弊社ではISDN回線の申込み代行を行っていますので同様の「ISDN回線申込み書」に必要事項を記入して弊社までお送りいただいても結構です。

① ② ③ ④ の順に接続します。接続を行うときは、ISDN回線の工事が終了した後に行ってください。

### ① 付属のモジュラーケーブル(3m)でつなぐ

付属ケーブル以外に、電話機用の6極2芯または6極4芯のケーブルをご利用いただけますが、ご利用時には、最寄りのNTTへお問い合わせください。

### ② 電話機をつなぐ

電話機はトーン発信のできるものをお使いください。

### ③ パソコンをつなぐ

本書7-2ページを参照してパソコンとつながります。  
※USBポートとシリアルポートは同時に使用できません。

### ④ ACアダプタをつなぐ

ACアダプタをコンセントに接続すると、電源が入ります。TS128NSの前面のPWランプが点滅から点灯に変わります。点滅のままのときは、極性反転スイッチを切替えてください。

接続した電話機から電話をかけて接続の確認をしてください。電話がかからないようでしたら、本書8-2～8-3ページをご覧ください。

# 正しくお使いいただくために

- この製品は「INSネット64」専用です。「INSネット64」以外の回線には接続しないでください。
- この製品は以下のOSに対応しています。  
Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Mac OS 7.5.3以上  
※ ただし、USB接続の場合はWindows98、Mac OS 8.1以降です。
- この製品はデジタルPBXには対応していません。
- アナログポートに接続したアナログ通信機器は、トーン式（DTMF）の場合のみ、電話をかけることができます。パルス式のアナログ通信機器から電話をかけることはできません。（着信はどちらでも可能）
- アナログポートには、通常のNTTの電話回線に接続する通信機器を接続してください。ボタン電話、ビジネスホン、キーテレホン、ホームテレホン等またはPBX用の通信機器を接続すると、使用できない場合があります。
- この製品のアナログポートに接続する電話機や通信機器によっては着信時のベルが鳴らなかったり、プッシュボタン信号（PB信号）が取れず電話がかけられない場合があります。着信時のベルの確認は、電話機ベルの確認（1-7ページ参照）を行ってください。
- アナログポートに接続する電話機のモジュラーケーブルは、6極2芯のものをご使用ください。

この製品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は、不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

# はじめに

この度は、I S D N用ターミナルアダプタTS128NSをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
ございます。

このユーザーズマニュアルは、お客様にこの製品を安全で正しくお使いいただくためのものです。この製品をお使いになる前に、必ずこのユーザーズマニュアルをよくお読みください。  
また、このユーザーズマニュアルを読んでも取扱方法がわからないときには、お買い求めの  
販売店または弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

この製品をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となる  
ことがあります。このユーザーズマニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

この製品は日本国内でのみ使用可能です。海外では電源電圧や通信規格が異なるため、海外  
へ持ち出して使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の  
国における登録商標です。このユーザーズマニュアルに記載されているその他のハードウェ  
アもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標もしくは登録商標です。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書に書かれた使用方法を守らずに起きた故障・事故については補償できませんので、本  
書を良くお読みの上、ユーザーズマニュアルを必ず保管してください。
- (4) 正常にご使用になり不良が発生した場合は、保証期間内に限り、この製品の修理または交  
換をさせていただきますが、他の設備・機器への損害は補償できません。
- (5) ご愛用登録カードはアフターサービスに必要なため、各事項をご記入のうえ必ず返送して  
ください。
- (6) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

# 特長

この製品は、次のような特長を持っています。

## 128Kbpsの高速通信をサポート

128Kbpsをサポートしています。128Kbpsの通信方式はMultiLink PPPを採用しています。

※128Kbpsのときは2回線を使用します。通信料金は2回線分かかります。

## 「かんたん設定ユーティリティ」付属

付属の「かんたん設定ユーティリティ」を使用して、パソコンから簡単に各種パラメータを設定できます。

## バージョンアップ可能

インターネットからバージョンアッププログラムを入手して、最新のファームウェアにバージョンアップできます。

## USB搭載

USBポートを搭載しているため、USBポートを持つパソコンとの接続ができます。

## INSボイスワープ・ボイスワープセレクト対応

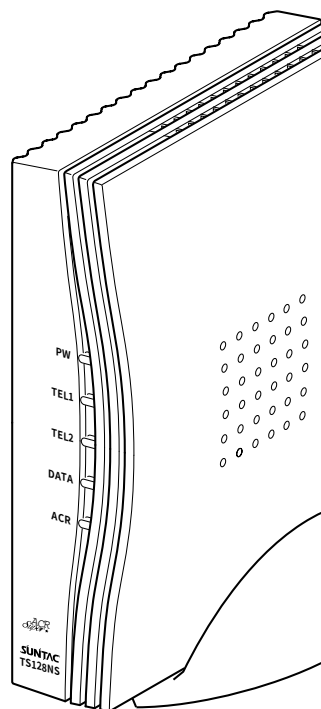
NTTの有料サービス「INSボイスワープ」と「ボイスワープセレクト」に対応しています。

## フレックスホン対応

NTTの有料サービス「フレックスホン」（キャッチホン（コールウェイティング）・三者通話・通信中転送・着信転送）に対応しています。

## なりわけサービス対応

NTTの有料サービス「なりわけサービス」（かけてきた相手先によって、異なった呼び出し音を鳴らすことのできるサービス）に対応しています。



## i・ナンバー対応

NTTの有料サービス「i・ナンバー」に対応しています。

## ナンバーディスプレイ対応

アナログポートに接続されたナンバーディスプレイ対応のアナログ機器に、相手方の発信者番号を表示できます。

## DSU内蔵

DSUを内蔵しているので、直接INSネット64に接続できます。

## フラッシュROM搭載

フラッシュROM搭載により、内部ファームウェアのバージョンアップができます。

## アナログ2ポート搭載

この製品には2つのアナログポートが搭載されていますので、アナログの電話機やFAXが2台まで接続することができます。(各アナログポートに接続できる機器は1台となります。)

## 呼出音メロディー機能

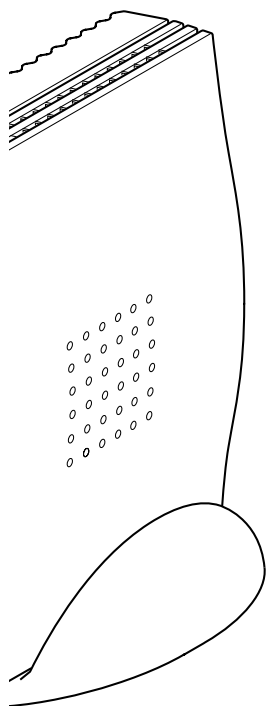
内蔵スピーカまたは、外部スピーカから呼出音メロディーを鳴らすことができます。

## 日本テレコムスーパーACR対応

料金のお得な電話会社を自動的に選択する日本テレコムの有料サービス「スーパーACR」に対応しています。

## 呼出音メロディーサービス対応

日本テレコムの有料サービス「スーパーACR」に加入すれば、「呼出音メロディーサービス」を利用して、呼出音のメロディーを10曲取り込むことができます。



# 目次

|                            |                                |
|----------------------------|--------------------------------|
|                            | はじめに.....i                     |
|                            | 特長 .....ii                     |
|                            | 目次 .....iv                     |
|                            | 安全にお使いいただくために.....vi           |
|                            | 安全上の定期点検 .....x                |
| <b>1</b><br>ご使用に<br>なる前に   | 梱包内容の確認 .....1-2               |
|                            | INSネット64の契約方法 .....1-4         |
|                            | 日付・時間の設定 .....1-6              |
|                            | 電話機ベルの確認 .....1-7              |
|                            | 128Kbps通信時の注意 .....1-8         |
| <b>2</b><br>設置方法           | 各部の名称とはたらき .....2-2            |
|                            | 電源・アースに接続する .....2-4           |
|                            | ISDN回線に接続する .....2-5           |
|                            | アナログポートに接続する .....2-7          |
| <b>3</b><br>基本操作と<br>設定方法  | 電話をかける .....3-2                |
|                            | ポート間内線通話 .....3-2              |
|                            | アナログ着信インターセプトピックアップ機能 .....3-3 |
|                            | 不在着信履歴の確認 .....3-3             |
|                            | 短縮ダイヤル発信 .....3-4              |
|                            | 電話帳の登録 .....3-4                |
|                            | TA本体から呼出音を鳴らす .....3-5         |
| <b>4</b><br>スーパー<br>ACR    | スーパーACRについて .....4-2           |
|                            | スーパーACRご利用申込み方法 .....4-4       |
|                            | スーパーACRのご利用について .....4-7       |
|                            | 電話機のスーパーACRを使うには .....4-11     |
|                            | デジタルモードご利用の際のご注意 .....4-12     |
|                            | 呼出音メロディーサービスについて .....4-13     |
| <b>5</b><br>アナログポ<br>ートの機能 | i・ナンバー .....5-2                |
|                            | ダイヤルイン番号 .....5-6              |
|                            | 全番号呼出応答（グローバル着信応答） .....5-7    |
|                            | ダイヤルインの設定例 .....5-8            |
|                            | サブアドレス .....5-10               |
|                            | フレックスホン機能 .....5-12            |
|                            | キャッチホン（コールウェイティング）機能 .....5-14 |
|                            | 三者通話機能 .....5-19               |
|                            | 通信中転送機能 .....5-22              |
|                            | 着信転送機能 .....5-24               |
|                            | 転送番号通知機能（疑似着信転送時） .....5-27    |
|                            | フッキング時間の設定 .....5-28           |

|                              |                          |      |
|------------------------------|--------------------------|------|
|                              | 保留音について.....             | 5-29 |
|                              | 内線転送機能.....              | 5-30 |
|                              | 発信者番号通知機能.....           | 5-32 |
|                              | なりわけ機能.....              | 5-33 |
|                              | ボイスワープ機能.....            | 5-35 |
|                              | プライベート着信機能.....          | 5-36 |
|                              | プライベート着信転送機能.....        | 5-37 |
|                              | 識別着信機能.....              | 5-38 |
|                              | 優先着信機能.....              | 5-39 |
|                              | 最適通信速度自動選択（BOD機能）.....   | 5-40 |
| <b>6</b><br>リモート<br>設定       | リモートコントロール機能.....        | 6-2  |
|                              | リモートコントロール.....          | 6-3  |
|                              | 発信番号リモートコントロール.....      | 6-4  |
|                              | サブアドレスリモートコントロール.....    | 6-5  |
| <b>7</b><br>パソコンの<br>接続・設定   | パソコンとの接続.....            | 7-2  |
|                              | Windows 95/98編.....      | 7-4  |
|                              | Machintosh編.....         | 7-13 |
| <b>8</b><br>トラブル<br>対処法      | アナログ電話機編.....            | 8-2  |
|                              | スーパーリセット.....            | 8-5  |
| <b>9</b><br>リファレンス           | アナログ電話機コマンド一覧表.....      | 9-2  |
| <b>10</b><br>電子マニュアル<br>について | Windows 98編.....         | 10-2 |
|                              | Macintosh編.....          | 10-4 |
| <b>A</b><br>付録               | 「かんたん設定ユーティリティ」について..... | A-2  |
|                              | ドライブ名を調べる.....           | A-4  |
|                              | ファームウェアのアップデート.....      | A-5  |
|                              | 仕様一覧.....                | A-7  |
|                              | 索引.....                  | A-8  |

## TS128NSユーザーズマニュアル通信編

通信編は、CD-ROMに電子マニュアル（PDFファイル）として収録されています。  
本マニュアルをお読みになってからお使いください。



# 安全にお使いいただくために

## このユーザーズマニュアルに使用している記号について

このユーザーズマニュアルでは、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。この表示の内容を無視して取扱を誤った場合生じる可能性のある内容を以下のように表記しています。以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。

 **警告** 使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。

 **注意** 使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

**絵表示の意味**  記号は、注意すべき内容を示しています。

 記号は、してはいけない内容を示しています。

 記号は、しなければならない内容を示しています。

この製品は精密機器です。ご使用にあたっては、次の事項をよく読んで正しくお使いください。

## 警告

### 異臭・煙が出たときは



万一、異常な臭いがしたり、過熱や煙が出るといった場合は、ただちに使用をやめ、電源コンセントからACアダプタを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



### ご使用の用途について



この製品は一般オフィスや家庭のOA機器、ないしホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性ないし安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。

### ケースは絶対に開けない



分解して内部の部品に触れないでください。電圧の高い部分があるため、感電の危険があります。また故障の原因にもなりますが、この場合は保証期間であっても保証できなくなりますので、ご注意ください。

### 指定以外の電圧では使用しない



110Vを超える電圧で使用する则该製品を破壊する恐れがあり、また、発火の原因ともなります。

### 改造禁止



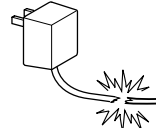
本製品に改造を行わないでください。故障の原因となります。本製品に改造を加えた場合は、保証期間内であっても保証対象外とさせていただきます。

## 警告

### 電源コードが傷ついている場合



電源コードが傷ついたり、破損したりしている場合は、ただちに使用をやめ、電源コンセントからACアダプタを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。



### 内部に水などが入った場合



内部に水などの液体が入った場合は、ただちに使用をやめ、電源コンセントからACアダプタを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

## 注意

### 電源コードの取扱いについて



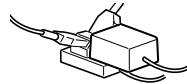
電源コードの加工は絶対におやめください。漏電による感電や発火、また、故障の原因になります。



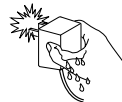
電源コードを引っ張ったり、上に重いものを乗せたりしないでください。漏電による感電や発火、また、故障の原因になります。



電源コードのタコ足配線はおやめください。故障、感電、発火の原因になります。



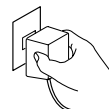
濡れた手で、ACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



ACアダプタはきちんと奥まで差し込んでください。差し込み方が不十分だと、ショートや発火の原因になります。



ACアダプタを抜くときはACアダプタ本体を手にとって抜いてください。電源コードを持って引き抜くと、ACアダプタの故障、感電、発火の原因になります。



### ケーススタンドの取扱いについて



ケーススタンドにとがったところがあります。注意してお使いください。

## ⚠ 注意

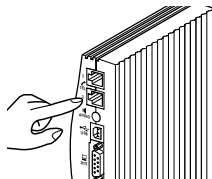
### 内部に異物を入れない



内部に異物（金属類や燃えやすい物）が入らないようにしてください。故障、発火、感電の原因になります。



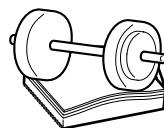
この製品の本体のコネクタ部分に指や鉛筆、針金等の異物を挿入しないでください。感電や故障の原因になります。



### 上にものを載せない

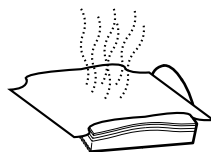


この製品の上に重いものを乗せないでください。故障の原因になります。



この製品の上下にある通風孔をふさがないでください。通風孔がふさがると内部に熱がこもり、発火の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- ・あお向けにする
- ・風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・じゅうたんや布団の上に置く
- ・布や紙など燃えやすいものを掛ける



### 付属のACアダプタ以外は使用しない



ACアダプタは、必ず本製品に付属のACアダプタを使用してください。他のACアダプタを使用すると、火災の原因になります。

### 取付・取り外しはACアダプタを外して電源を切っておこなう



この製品の取り付け、取り外しをおこなう際は、かならずACアダプタを外しておこなってください。ACアダプタを差し込んだままだと、故障、感電の原因になります。

### 長期間無人で使用する場合



長期間無人で使用する場合は、必ず定期的に保守／点検を行ってください。電源プラグの間にたまったほこりやゴミに水がついてショートすると、発火の原因になります。

### 日常のお手入れ



この製品の汚れは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いてふいたりしますと、有害な気体が発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

## ⚠ 注意

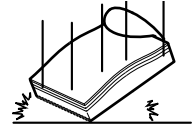
### 設置場所について



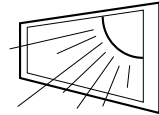
この製品は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外での設置／使用はおやめください。雨、ちり、ほこりなどによって、故障、破損、発火、感電の原因になります。



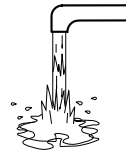
衝撃を与えたり、振動の加わる場所での設置／使用は避けてください。故障、破損の原因になります。



直射日光のあたる場所や高温多湿になる場所での設置／使用は避けてください。故障、破損の原因になります。



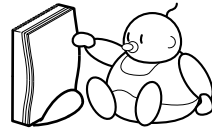
風呂場など水気の多い場所で設置／使用しないでください。発火、感電の原因になります。



薬品が触れる場所や、薬品のそばでの設置／使用は避けてください。故障、変色あるいは変形の原因になります。また、ケースの溶融による異臭、有害な気体が、発生することがあります。



小児の手の届かないところで設置／使用してください。故障、感電の原因になります。



### 落雷のおそれがある場合



落雷のおそれがあるときは、ただちに使用をやめ、この製品の電源を切ってください。(ACアダプタをコンセントから外す)。また、この製品からISDN回線のモジュラーケーブルを外してください。落雷時に内部に電流が流れ込むと、この製品を破壊するおそれがあります。電話など回線を使用しているときは、少なくともパソコンと接続しているケーブルは外してください。



この製品は、落雷などの影響を最小限に抑えるため、内部に安全装置を持っていますが、念のためこの製品のFG端子（アース端子）を使って接地してください。

# 安全上の定期点検

この製品を安全に使用するため、以下の項目に従って必ず定期的に保守点検を行ってください。なお、以下の作業は、この製品のACアダプタをコンセントから抜いて作業してください。



| チェックする箇所 | チェックする項目                  | 異常の場合の処置                                      | 危険性       |
|----------|---------------------------|-----------------------------------------------|-----------|
| ACアダプタ   | 電源プラグが汚れていないか、ゴミがついていないか。 | 使用をただちにやめ、プラグの清掃をおこなってください。                   | ショートによる発火 |
|          | 傷・破損はないか。                 | 販売店または弊社へ相談してください。                            | 感電、発火     |
| 本体ケース    | 破損はないか。<br>ガタツキはないか。      | 販売店または弊社へ相談してください。                            | 負傷、感電、故障  |
|          | 上下の通風穴にゴミはつまっていないか。       | 掃除機などで吸い取ってください（内部にゴミなどの異物を落とさないように注意してください）。 | 発火、故障     |
|          | 上に物が乗っていないか。              | ただちに取り除いてください。                                | 発火、故障     |
|          | 異音・異臭がしないか。               | 販売店または弊社へ相談してください。                            | 発火、故障     |
|          | 汚れていないか。                  | やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽くふいてください。                |           |

# 1 ご使用になる前に

この章では、この製品をご使用になる前に、  
知っておいて頂きたいことを説明します。  
ご使用になる前に必ずお読みください。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アログ・ボート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

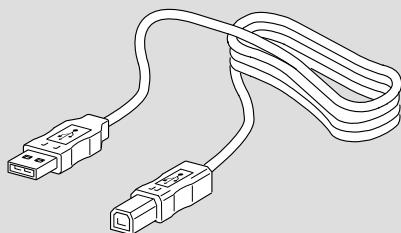
A

付 録

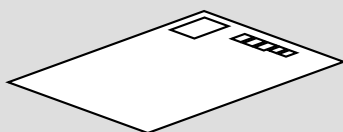
# 梱包内容の確認

お買い求め頂いたTS128NSには、以下のものが梱包されています。  
箱から取り出して、すべて揃っているかどうかを確認してください。

USBケーブル（USB接続用）



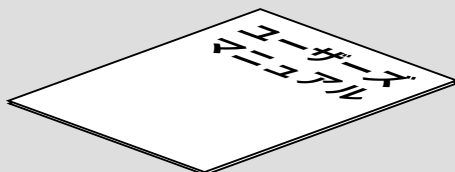
ご愛用登録カード  
(マニュアルの巻末に綴じ込み)



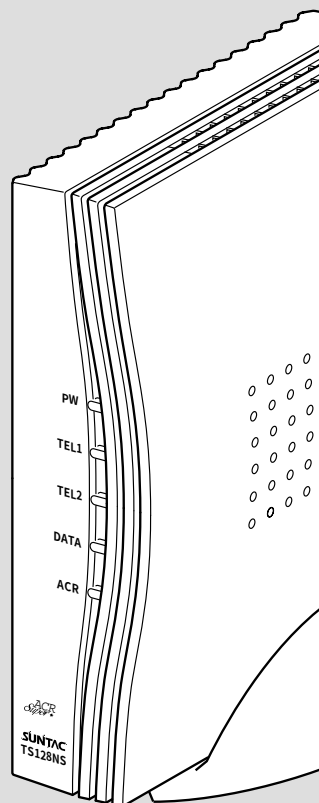
加入セット



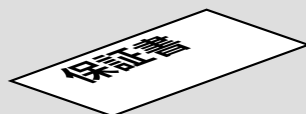
ユーザーズマニュアル



ターミナル



保証書（マニュアルの裏表紙）



1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

プログラマー  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

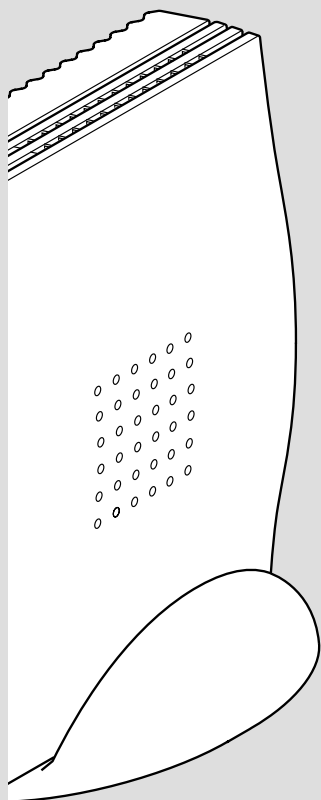
10

電子マニュアル  
について

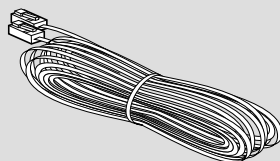
A

付 録

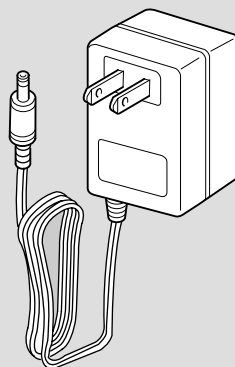
アダプタ本体



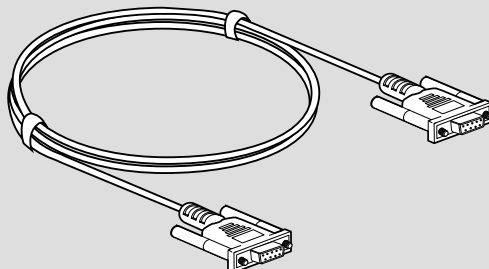
6極モジュラーケーブル (3m)  
(LINE接続用)



ACアダプタ



RS232Cケーブル (D-SUB9 メス-メス)  
(DTE接続用)



添付CD-ROM





# INSネット64の契約方法

この製品をご利用いただくためには、お客様とNTTとの間でINSネット64の契約を行う  
ここでは契約書類「INSネット64お申込票」(基本機能版)の記入方法の例を説明します。

## INSネット64・INSネット64ライト

### 【基本機能版】①「INSネット64・INSネット64ライト」お申込票 (NTT控え)

|                                                                    |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                          |                                        |                                                                     |                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ①<br>②<br>③<br>④<br>⑤<br>⑥<br>⑦<br>⑧<br>⑨<br>⑩<br>⑪<br>⑫<br>⑬<br>⑭ | 【契約者回線番号】<br>( )                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 【工事予定日】 <input type="checkbox"/> 派遣有 <input type="checkbox"/> 派遣無<br>平成 年 月 日 (午前・午後)                                                                                    |                                        | 決裁判定項目 ITOS接<br><input type="checkbox"/> 家 <input type="checkbox"/> |                                                                         |
|                                                                    | 契約者主体確認 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 住民票・印鑑証明 <input type="checkbox"/> 登記簿 <input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> 既設 その他( ) |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | お申込み内容 別添付<br><input type="checkbox"/> 住居<br><input type="checkbox"/> 事務                                                                                                 |                                        | ③<br>④<br>⑤<br>⑥                                                    |                                                                         |
|                                                                    | ※太枠の中をご記入願います。また、各欄の該当する箇所の□にレ点チェック願います。<br>※4枚複写となっておりますので、ボールペンで強くご記入願います。                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                          |                                        |                                                                     | 「まらちなつとあい」お申込み<br><input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
|                                                                    | お申込み年月日 平成 年 月 日                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <input type="checkbox"/> INSネット64のお申込み<br><input type="checkbox"/> INSネット64ライトのお申込み                                                                                      |                                        |                                                                     | お申込み回線数 居                                                               |
|                                                                    | ご利用開始希望日 平成 年 月 日                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後                                                                                                                  |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | お申込者名 姓 氏名                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ご連絡先 TEL ( ) 様                                                                                                                                                           |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | ご連絡先 事務担当者 TEL ( ) 様                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 技術担当者 TEL ( ) 様                                                                                                                                                          |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | ご連絡先 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他                                                                                                             |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | 契約者名 (フリガナ) 様                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 工事立会者 TEL ( ) 様                                                                                                                                                          |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | INSネットをご利用になる場所<br>ビル・マンション名 部屋番号                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 上記の場所で現在ご利用中の電話番号 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 TEL ( ) 様                                                                                        |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | ご契約者住所 〒                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <input type="checkbox"/> INSネットご利用場所に同じ <input type="checkbox"/> その他(下記へご記入願います)                                                                                         |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | 毎月の請求書のご送付先 〒                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <input type="checkbox"/> INSネットご利用場所に同じ <input type="checkbox"/> ご契約者の住所に同じ <input type="checkbox"/> その他(下記へご記入願います)                                                     |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | 契約料・施設設置負担金のお支払い方法 〒                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <input type="checkbox"/> 毎月の請求書にあわせて送付[定期請求](ただし、加入電話から転用する場合の契約料のみ可能)<br><input type="checkbox"/> 窓口にてお支払い[即納] <input type="checkbox"/> 別途、請求書を送付[随時請求](下記へ送付先をご記入願います) |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
|                                                                    | 工事代金のお支払い方法 〒                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <input type="checkbox"/> 毎月の請求書にあわせて送付[定期請求]<br><input type="checkbox"/> 別途、請求書を送付[随時請求](下記へ送付先をご記入願います)                                                                 |                                        |                                                                     | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ                                  |
| 電話帳掲載等                                                             |                                                                                                                                                                       | <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> タウンページ(職業別) フリガナ<br><input type="checkbox"/> ハローページ(50音別) 掲載名<br><input type="checkbox"/> 不要(掲載案内) <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要<br>右枠へ掲載名をご記入願います。<br>※重複掲載については別途お問い合わせください。<br>INS表記 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 職業分類 コード |                                                                                                                                                                          | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ |                                                                     |                                                                         |
| 助 事 欄                                                              |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                          | ⑤<br>⑥<br>●電話着<br>●インタ<br>●金信着<br>●ユーザ |                                                                     |                                                                         |

|              |      |
|--------------|------|
| NTT<br>名古屋支店 | 受付部門 |
|              | 担当者名 |
|              | TEL  |
|              | FAX  |

ていただく必要があります。  
(詳細はNTTへご相談ください。)

## お申込票（基本機能版）の記入例

- ① NTTにお申込票を提出される日を記入してください。
- ② お申込みになった日から通常2週間程度かかりますので、その期間を考慮の上ご記入ください。
- ③ お申込みになる回線を選択してください。
- ④ お申込みを行う回線数を記入してください。
- ⑤ お申込みを行う方の名前と電話番号を記入してください。
- ⑥ 事務担当者、技術担当者、工事立会者の連絡先を記入してください。
- ⑦ ご契約される方の氏名は、住民票・登記簿上の名前を記入してください。
- ⑧ INSネット64をご利用になる住所を記入してください。
- ⑨ ご契約される方の住所は、住民票・登記簿上の住所を記入してください。
- ⑩ NTTから送付される毎月の請求書の送付先を選択・記入してください。
- ⑪ 契約料・施設設置負担金の支払い方法を選択・記入してください。
- ⑫ 工事代金の支払い方法を選択・記入してください。
- ⑬ 電話帳へ載せる名前を記入してください。  
載せない場合は、不要と記入してください。
- ⑭ 他に記載事項があれば、記入してください。

「INSネット64お申込票」には【基本機能版】と【高機能版】がありますが、このユーザーズマニュアルでは【基本機能版】についての記入方法を解説します。

1  
ご使用に  
なる前に

2  
設置方法

3  
基本操作

4  
スーパー  
ACR

5  
アドバンス  
の機能

6  
リモート  
設定

7  
パソコンの  
接続・設定

8  
トラブル  
対処法

9  
リファレンス

10  
電子マニュアル  
について

A  
付録

# 日付・時間の設定

本体背面のアナログポートに接続された電話機から、この製品の内蔵カレンダーと時計を合わせます。

- 日付と時間設定されていない状態では着信履歴、発信履歴、モーニングコールが使用できません。使用するためには、必ず日付と時間を設定してください。
- ACアダプタをコンセントから抜いて約10時間以上放置すると設定がクリアされます。設定し直してください。
- スーパーリセットやバージョンアップ等ではクリアされません。

## 日付・時間の設定

日付・時間を設定するには、アナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

|   |   |   |   |     |     |     |     |     |   |   |
|---|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|
| ✳ | ✳ | 8 | 0 | 年※1 | 月※2 | 日※3 | 時※4 | 分※5 | # | # |
|---|---|---|---|-----|-----|-----|-----|-----|---|---|

※1：年を4桁で入力してください。（例：1999年の時、**①⑨⑨⑨**）

※2：月を2桁で入力してください。（例：9月の時、**⑨⑨**）

※3：日を2桁で入力してください。（例：10日の時、**①⑨**）

※4：時を2桁で入力してください。[24時間制です]

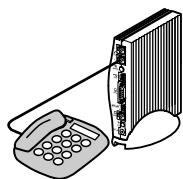
（例：AM6時の時、**⑨⑥** また、PM6時の時、**①⑥**）

※5：分を2桁で入力してください。（例：10分の時、**①⑨**）

- 上記以外に、付属のかんたん設定ユーティリティからも設定できます。

# 電話機ベルの確認

本体背面のアナログポートに接続された電話機から、電話機のベルの確認を行います。



あらかじめ、この製品の任意のアナログポートに電話機を接続してACアダプタをコンセントに差し込んでください。

接続後、本体背面のアナログポートに接続された電話機から、着信音の確認操作を行います。

## ベルテスト

ベルテストを行うにはアナログポートに接続された電話機の手受器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

＊ ＊ 8 4 # #

上記でベルが2,3回鳴った場合は正常に動作しています。初期値の20Hzでベルが鳴らない場合は、下記を参照してRing信号の設定を25Hzに変更し、再度上記の手順でベルを鳴らしてみてください。(電話機によっては、ベルの鳴る回数が異なります。)

## Ring信号の設定

Ring信号を設定するにはアナログポートに接続された電話機の手受器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

＊ ＊ 8 5 番号※1 # #

※1：Ring信号の周波数を15Hzに設定するとき、⑩と入力します。

Ring信号の周波数を20Hzに設定するとき、①と入力します。(初期値)

Ring信号の周波数を25Hzに設定するとき、②と入力します。

25Hzに設定してもベルが鳴らなかった場合は、電話機に「着信感度」などといった設定があれば高感度に設定してみてください。または、他の電話機があれば、そちらでも試してみてください。

1

ご使用になる前

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

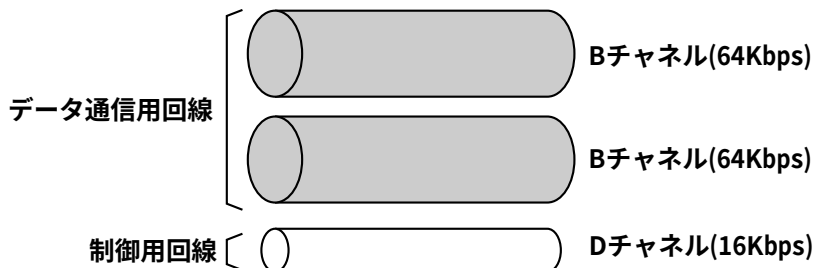
A

付録

# 128Kbps通信時の注意

## 回線を同時に利用できる台数

一本のISDN回線は、64Kbpsのデジタル回線を二本内蔵しています。



一本のISDN回線は、64Kbpsのデジタル回線を二本内蔵しています。

通常のデータ通信（64KPPP通信）、および電話機（アナログ通信）使用時には、64Kbpsの回線を一本のみ使用するため、一本のISDN回線に接続されている端末機器が同時に2台まで通信可能です。

128Kbpsのデータ通信（MP/BACP）使用時には、64Kbpsのデジタル回線を二本とも使用するため、1台の端末機器しか通信できません。

最適通信速度自動選択（BOD機能）使用時は、回線の使用状況に合わせて使用する回線数を自動的に調節するため、2台の端末機器が使用できます。

## 通信費用

デジタル回線利用時の通信料金は、通常の電話機と同じように通信（通話）時間で課金されます。

128Kbpsでの通信時の料金は、ISDN回線内のデジタル通信回線を二本とも使用するために、電話2回線分（通常の二倍）になります。

最適通信速度自動選択（BOD機能）（5-40ページ参照）を設定しておく、データ量に応じて64K、128Kを自動で切り替えますので、通話料がお得になります。

## DTE(RS232C)ポートで端末速度を230.4Kbpsに設定する場合

端末速度230.4Kbpsに対応していないパソコンをご使用の場合は、RS232Cアクセラレータボードが必要になります。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドヴァンスト  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

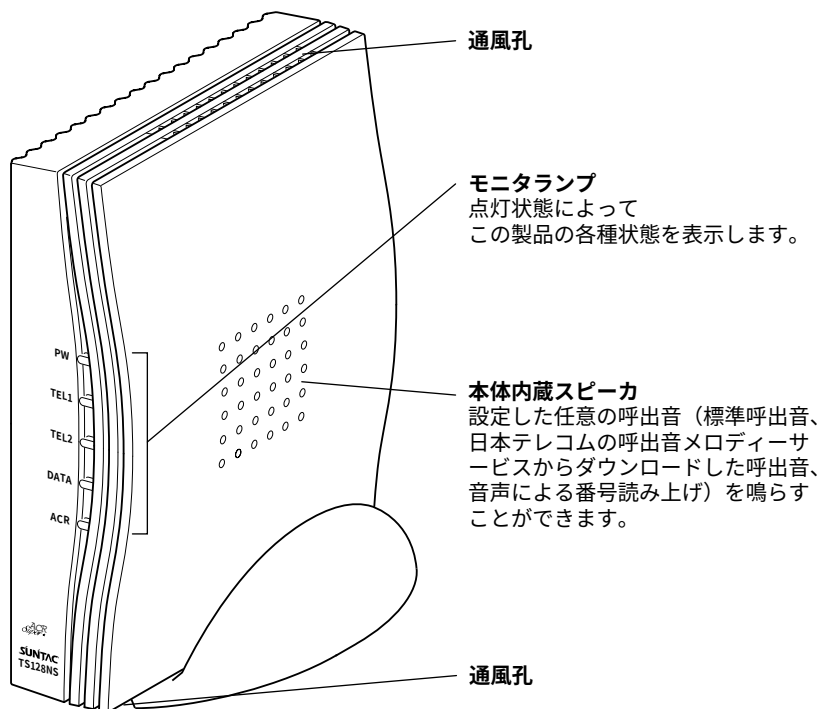
## 2 設置方法

この章では、この製品を設置するにあたって必要な事項について説明します。  
説明に従って正しく設置してください。

# 各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらきについて説明します。

## 正面図

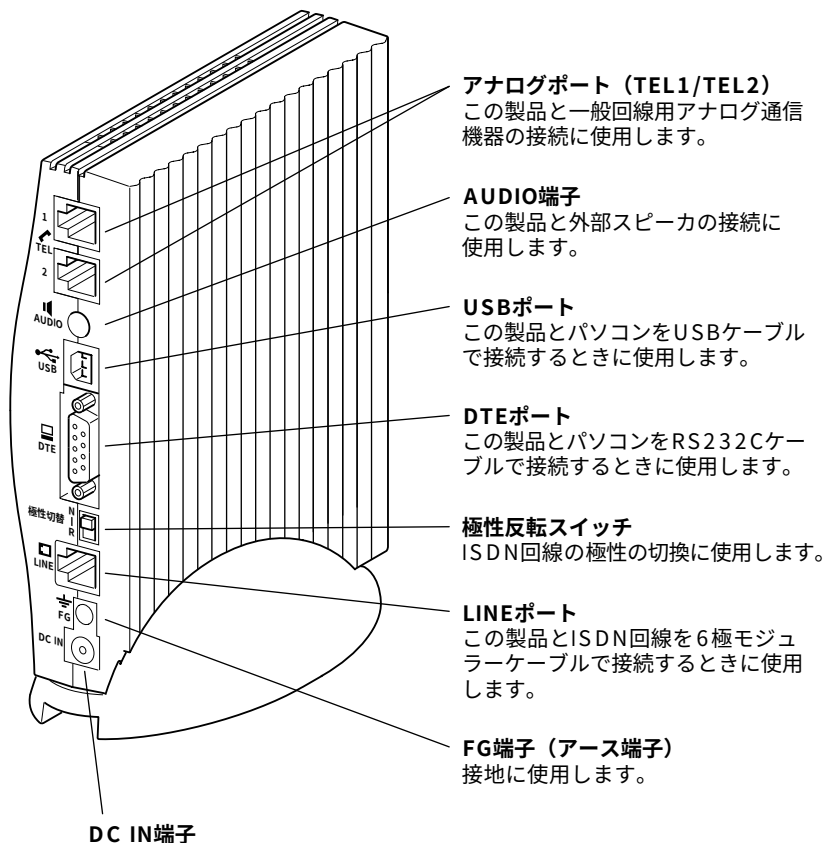


## モニタランプの意味

|      |                                                                                          |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| PW   | 赤点灯：電源が入っており、ISDN回線と正しく接続されているとき<br>赤点滅：電源が入っており、ISDN回線に正しく接続されていないとき<br>消 灯：電源が入っていないとき |
| TEL1 | 赤点灯：TEL1のアナログポート使用時<br>赤点滅：TEL1のアナログポートに電話がかかってきたとき（RING鳴動時）                             |
| TEL2 | 赤点灯：TEL2のアナログポート使用時<br>赤点滅：TEL2のアナログポートに電話がかかってきたとき（RING鳴動時）                             |
| DATA | 赤点灯：データ通信中                                                                               |
| ACR  | 赤点灯：データ書込、データ破損、ACR機能が「切」<br>緑点灯：ACR機能を利用時<br>緑点滅：新電電にダイヤル中、着信音データをダウンロード中               |

接続方法については、2-4ページ～2-10ページを参照してください。

## 背面図



1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

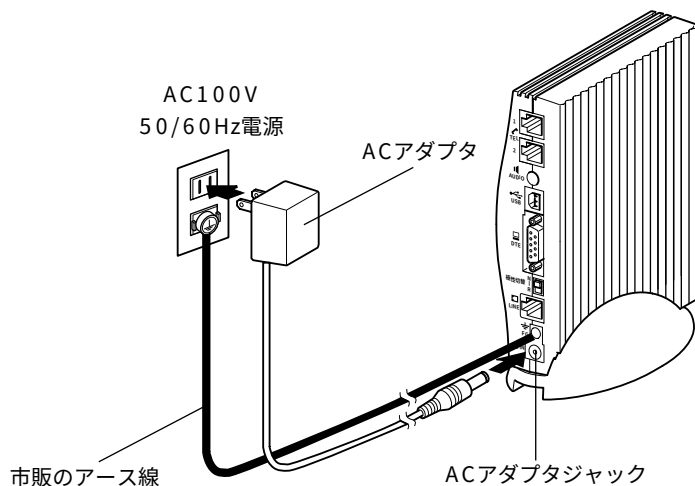
A

付録



# 電源・アースに接続する

この製品にアースを接続し、付属のACアダプタを取り付けて、コンセントに接続します。  
以下の図を参考に正しく接続してください。



## ⚠ 注意

付属のACアダプタ以外は使用しない



ACアダプタは、必ず本製品に付属のACアダプタを使用してください。  
他のACアダプタを使用すると、火災の原因になります。

# ISDN回線に接続する

この製品をISDN回線に接続し、アナログ通信機器を接続します。下記の注意をよく読んで、正しく接続してください。

- この製品をISDN回線に接続する場合は、電源が入っていない（ACアダプタがコンセントに接続されていない）ことを確認し、ISDN回線に接続してください。
- この製品は「INSネット64」専用です。「INSネット64」以外の回線には接続しないでください。通信できなくなったり、誤動作の原因になります。
- モジュラーケーブルは、付属の適切なモジュラーケーブルをお使いいただくか、正しい仕様のケーブルをご用意ください。  
LINEポート用：付属の6極モジュラーケーブル
- モジュラーケーブルの接続は、カチッという音がしてロックがかかるまで、しっかりと差し込んでください。入れ方が中途半端だと、接触不良で正常に通信できない可能性があります。
- この製品に付属のACアダプタを取り付け、コンセントに接続すると本体前面のPWランプが点滅から点灯に変わります。点滅のままのときは、ACアダプタをコンセントから抜き、本体背面の極性反転スイッチを切り替えて、ACアダプタを取り付けてください。

この製品は端末審査協会の認定を受けています。従って回線との接続がモジュラージャック式になっていれば、工事無しで接続可能です。モジュラーローゼットから回線終端装置までの配線工事は、NTTに依頼してください。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

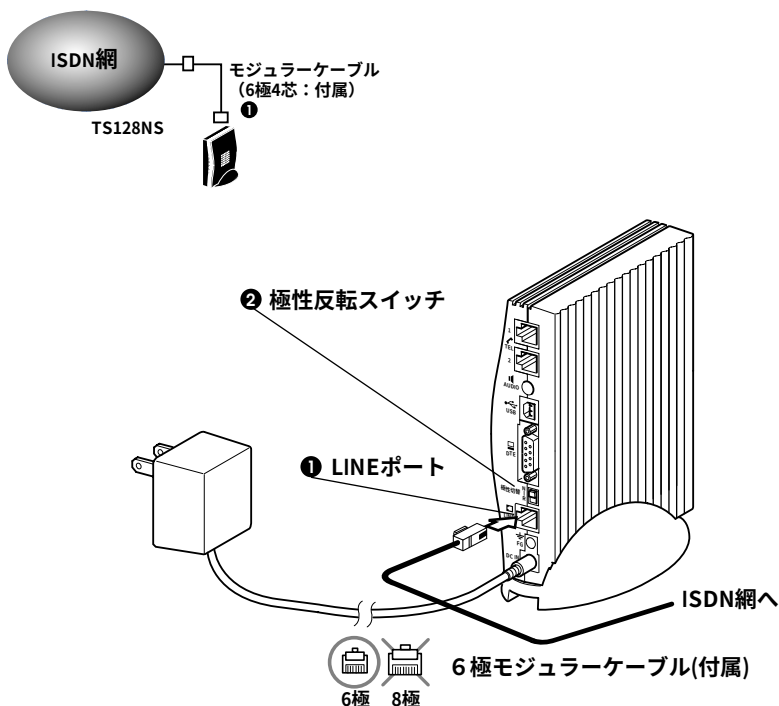
電子マニュアル  
について

A

付 録

### TS128NSの接続について

詳しい接続方法は、以下を参考に正しく接続してください。



- ① 付属の6極モジュラーケーブルで、この製品のLINEポートとISDN網を接続します。
- ② 極性の確認・設定を行ってください。(下記参照)

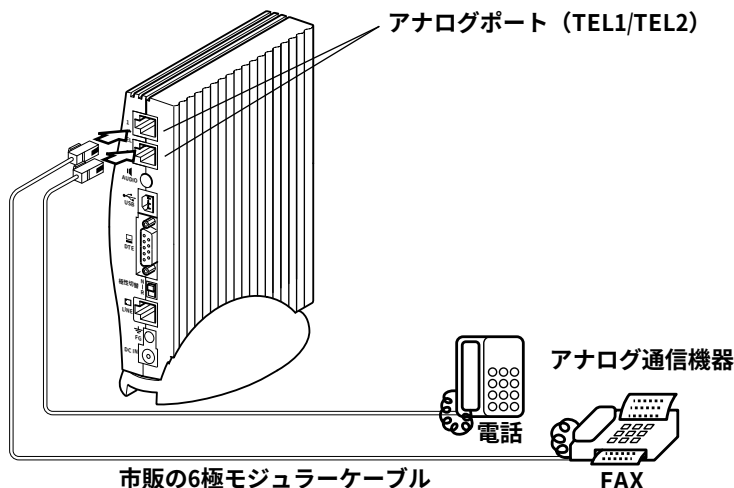
#### 極性の設定について

ISDN回線によっては、工場出荷時の極性設定と一致しない場合があります。ISDN回線の極性を合わせるには以下の方法でおこない、本体背面の極性反転スイッチを正しく設定してください。

- 1.ISDN回線に6極モジュラーケーブルが接続されているのを確認して、ACアダプタをコンセントに接続してください。
- 2.モニタランプのPWが赤色に点灯していれば、極性は合っています。  
極性反転スイッチはそのままの設定にしておいてください。
- 3.モニタランプのPWが赤色に点滅している場合は、極性反転スイッチを切り替えてください。PWのランプが赤色の点灯になったら極性の設定は終了です。

# アナログポートに接続する

この製品は、アナログポートを2ポート装備しており、電話やFAX、モデムなどのアナログ通信機器を接続し、他のアナログ通信機器と通信できます。アナログポートにアナログ通信機器を接続する場合は、以下の注意をよく読んで正しく接続してください。



- LINEポートにアナログ通信機器を接続しないでください。誤動作の原因になります。
- アナログポートに接続したアナログ通信機器は、トーン式（DTMF）の場合のみ、電話をかけることができます。パルス式のアナログ通信機器から電話をかけることはできません。（着信はどちらでも可能）
- 1つのアナログポートにつき1台のアナログ通信機器を接続してください。同一のポートに複数のアナログ通信機器を接続することはできません。
- アナログポートには、通常のNTTの電話回線に接続する通信機器を接続してください。ボタン電話、ビジネスホン、キーテレホン、ホームテレホン等またはPBX用の通信機器を接続すると、使用できない場合があります。
- アナログポートには、NTTの公衆回線に適合しており、技術基準適合認定を取得しているアナログ通信機器を接続してください。ここに述べた以外のアナログ通信機器を接続した場合は、通信できない場合があります。
- アナログポートに接続するアナログ機器は、6極2芯モジュラーケーブルで接続してください。
- モジュラーケーブルの接続は、カチッという音がしてロックがかかるまでしっかりと差し込んでください。ロックされていない状態の場合、接触不良で正常に通信できない場合があります。
- 電話機などアナログ機器によっては着信音が鳴らないものがあります。その場合は、電話機ベルの確認（1-7ページ）を参照してください。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付録

### 各アナログポートを別々の番号で呼び出す場合



アナログポートに接続された機器に別々の番号を付けて、それぞれを別々に呼び出すことができます。

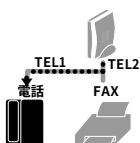
詳細は、i・ナンバー（5-2ページ）・ダイヤルイン番号（5-6ページ）・サブアドレス（5-10ページ）を参照してください。

また、付属のかんたん設定ユーティリティからも設定できます。

### アナログポートの設定

各アナログポートには必ず下記を参照して、ポートモード（通信モード）を設定する必要があります。設定したいアナログポートに電話機を接続して、設定操作を行ってください。この操作は、操作したポートに対して有効です。

#### アナログポートに「電話機」を接続する場合



##### 未設定のポートに電話機を接続する場合

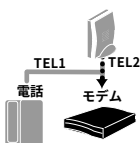
特に設定する必要ありません。（工場出荷時の設定のままで使用できます）

##### すでに他の機器に設定してあるポートに電話機を接続する場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 0 0 0 # #

#### アナログポートに「モデム」を接続する場合



受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 0 0 1 # #

## アナログポートに「FAX電話」を接続する場合



### FAX電話からG4FAX以外にFAXする場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

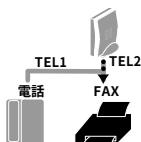
※ ※ 0 0 0 # #

### FAX電話からG4FAXにFAXする場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 0 0 2 # #

## アナログポートに「FAX」を接続する場合



受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 0 0 2 # #

## アナログポートに何も接続しない場合



- ①一担、未使用とするアナログポートに電話機を接続します。
- ②受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。
- ③使用しないアナログポートから電話機を外します。

※ ※ 0 0 3 # #

機器が接続されていないアナログポートのポートモードに上記の設定を行わないと、他の電話機が話し中に呼び出しがかかっても「話し中」にならないため、相手に不在と誤認されてしまうおそれがあります。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

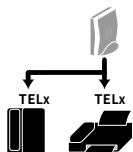
電子マニュアル  
について

A

付 録

### ナンバーディスプレイ対応のアナログ機器を接続する場合

この製品では、ナンバーディスプレイに対応した電話機、FAX、アダプター等を接続して、ナンバーディスプレイを表示できます。



全てのアナログポートで  
ナンバーディスプレイ可能

ナンバーディスプレイ表示は、全てのアナログポートで対応しています。

以下の「ナンバーディスプレイ機能を利用する場合」を参照して設定を行ってください。

- ナンバーディスプレイが動作しない場合は、アナログ電話機側でナンバーディスプレイ機能を利用する設定になっていることを確認してください。
- 128KbpsMP/BACPで通信中、通信中着信通知、キャッチホン(コールウェイティング)、疑似コールウェイティング等の呼び出しを受けた場合は、ナンバーディスプレイ機能は動作しません。



アナログ回線からの着信の場合、ナンバーディスプレイ機能を利用するためには、NTTとの「INSナンバーディスプレイ契約」が別途必要になります。詳細は、NTTにお問い合わせください。

### ナンバーディスプレイ機能を利用する場合

ナンバーディスプレイ機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
入力が完了したら、受話器を置いてください。

※ 番号 ※1

※1：以下の中から利用する/しないの番号を に入力します。

⓪：利用しない、①：利用する

- 上記以外に付属のかんたん設定ユーティリティからも設定できます。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドバンスド  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

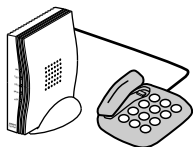
付 録

## 3 基本操作

この章では、基本的な電話機の操作を説明します。



# 電話をかける



パルス式の電話機での発信はできません。  
プッシュボタン信号の電話機をご使用ください。

電話機のダイヤル方式はトーン式に合わせてください。

アナログポートに接続された電話機から電話をかける場合は、受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

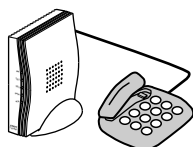
**市外局番** **市内局番** **相手の電話番号** **#** ※1

E 呼び出しを開始します。

※1：電話番号の最後に **#** ボタンを押すと、すぐに呼び出しを開始します。

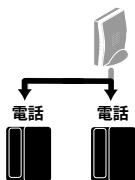
**#** ボタンを押さなくても発信はできますが、呼び出しを開始するまで少し時間がかかります。

## ポート間内線通話



パルス式の電話機での発信はできません。  
プッシュボタン信号の電話機をご使用ください。

電話機のダイヤル方式はトーン式に合わせてください。



この製品のアナログポートに接続されたアナログ電話機同士で内線通話ができます。

あるアナログポートから他のアナログポートに電話をかける場合は、任意のアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

**✳** **内線番号** ※1 **#** ※2

E 指定したアナログポートに接続された電話機を呼び出します。

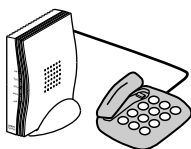
※1：以下の中から通話先の内線番号を **■** に入力します。

**①**：TEL1、**②**：TEL2

※2：電話番号の最後に **#** ボタンを押すと、すぐに呼び出しを開始します。

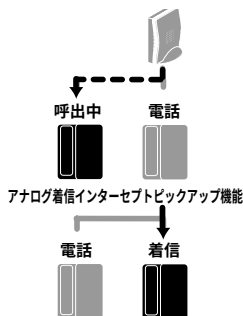
**#** ボタンを押さなくても発信はできますが、呼び出しを開始するまで少し時間がかかります。

# アナログ着信インターセプトピックアップ機能



パルス式の電話機での発信はできません。  
プッシュボタン信号の電話機をご使用ください。

電話機のダイヤル方式はトーン式に合わせてください。



ダイヤルイン、i・ナンバー、ポートモードがOFFなど、呼出を受けても着信が受けられない時、他の電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力すると、インターセプトピックアップ（よこどり）できます。

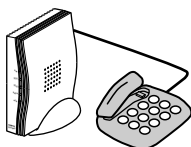
※1  
✱ 0 #

☎ 呼出音が止み、電話をかけてきた相手と通話ができます。

※1：電話番号の最後に ☎ ボタンを押すと、すぐに呼び出しを開始します。

☎ ボタンを押さなくても発信はできますが、呼び出しを開始するまで少し時間がかかります。

## 不在着信履歴の確認



パルス式の電話機での発信はできません。  
プッシュボタン信号の電話機をご使用ください。

電話機のダイヤル方式はトーン式に合わせてください。

アナログポートに接続された電話機から不在着信を確認する場合は、受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

✱ ✱ 9 9 # #

☎ 音声で不在着信の時間と相手の電話番号をお知らせします。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

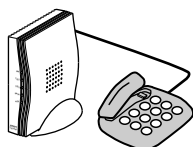
10

電子マニュアル  
について

A

付録

# 短縮ダイヤル発信



パルス式の電話機での発信はできません。  
プッシュボタン信号の電話機をご使用ください。

電話機のダイヤル方式はトーン式に合わせてください。

アナログ電話機から、電話帳に登録されている番号（3-4ページ参照）をダイヤルすることができます。受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

✳ 番号※1 # ※2

☎ 電話帳に登録されている電話番号をダイヤルします。

## ※1： 共通電話帳を使用する場合

共通電話帳の登録番号を ■■■ に入力します。

共通電話帳01番へかける場合は☎ ①を入力します。番号は必ず二桁で入力してください。一桁の番号は十の位に0を付けて入力してください。

## プライベート電話帳を使用する場合

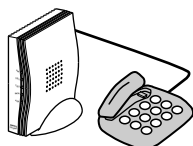
プライベート電話帳の登録番号に20を加算した番号を ■■■ に入力します。

プライベート電話帳の「15」番へかける場合は、「20」を加算した「35」番が■■■に入力する番号となります。

※2： 電話番号の最後に☎ ボタンを押すと、すぐに呼び出しを開始します。

☎ ボタンを押さなくても発信はできますが、呼び出しを開始するまで少し時間がかかります。

## 電話帳の登録



パルス式の電話機での発信はできません。  
プッシュボタン信号の電話機をご使用ください。

電話機のダイヤル方式はトーン式に合わせてください。

電話帳には共通電話帳と、アナログポートごとに設定するプライベート電話帳の2種類があります。登録件数は最大60件です（共通電話帳20件、各ポート20件）。

- 電話番号はかならず市外局番から番号のみを続けて入力してください。
- 電話帳の登録は、付属のかんたん設定ユーティリティでのみ設定可能です。  
かんたん設定ユーティリティの詳細については、「かんたん設定ユーティリティ」について（A-2ページ）を参照してください。

# TA本体から呼出音を鳴らす

TS128NSは相手からの着信に対して、本体内蔵のスピーカ（または外部スピーカ）から呼出音を鳴らすことができます。

## i・ナンバーやダイヤルイン等の設定を行っている場合

TEL1、TEL2の着信毎に呼出音を分けて鳴らすことができます。

（TEL1の呼出音が鳴っているときに、TEL2にも着信があった場合は、TEL2の呼出し音が鳴り出します。）

## i・ナンバーやダイヤルイン等の設定を行っていない場合

TEL1、TEL2それぞれ呼出音を設定されていてもTEL1で設定した呼出音が鳴ります。

## 呼出音を設定する

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から音楽<sup>\*1</sup>が流れます。受話器を置いてください。

✳ ✳ 1 5 番号 <sup>\*2</sup> # #

※1：00、16とデータのない番号については音楽が鳴りません。

※2：00：呼出音を使用しない

01～05：この製品が標準で持っている呼出音

06～15：呼出音メロディーサービスの呼出音

16：音声

※3：呼出音メロディーサービスの呼出音は日本テレコムのスーパースターACRの契約（申込み費用及び基本料金、取り付け工事はありません。）が必要です。  
詳しくは、4項「スーパースターACR」をご覧ください。

更に、かんたん設定ユーティリティを利用して、電話帳に登録された人毎に呼出音を設定することが可能です。

プライベート着信を設定されている場合は、共通電話帳のみ呼出音を鳴らすことができます。

※音声を設定した場合は、相手の電話番号を読み上げます。

※ナンバーディスプレイを使用している場合は、呼出音は無効となります。

※外部スピーカをご使用になるときは、アンプ内蔵のスピーカをお勧めします。アンプが内蔵されていないと、音が小さい場合や音にならない場合があります。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパースターACR

5

プログラマーの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

## 音量を設定する

### 1 電話機の受話器を上げ[\*][\*]8[6]番号<sup>\*1</sup>[#][#]を押します。

※1：①：小さい音量

②：この製品が標準で持っている音量

③：大きい音量

### 2 電話機の受話器を置きます。

# 4 スーパーACR

この章では、スーパーACRの概要から使用方法までを説明します。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

プログラマー  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

この製品は、スーパーACRに対応しています。

ここでは、スーパーACRの概要について説明します。

## スーパーACR (Automatic Carrier Routing) : 自動電話会社接続機能とは

相手先の場所、曜日、時間帯に応じて、日本テレコム(0088)とNTTの中から自動的に最適な電話会社に接続する機能です。また、DDI(0077)、KDD(0070)を含めて選択することもできます。(4-7ページ参照)

「スーパーACR」は「スーパーLCR」の名称が変更されたものであり、機能的には同等です。

## スーパーACRを利用するには

- 必ず、日本テレコム(0088)へスーパーACRご利用申込みが必要です。
- 申込みにかかる費用、基本料金は必要ありません。

## この製品のスーパーACRを利用すると

- 電話をかける時に、新電電のアクセス番号(例：日本テレコムの場合0088)を押す必要がありません。
- スーパーACR機能を持っていない電話機を使ってもスーパーACRを利用する事ができるようになります。

## ACRのデータの書き込みについて

- この製品は、スーパーACRを正しく動作させるためにACRデータを書き込む必要があります。
- ACRデータは日本テレコムからISDN回線を通して送られ、自動的にこの製品に書き込まれます。
- 日本テレコムからデータを書き込むために、電話がかかってきたときに受話器を上げると「ブ・ブ・ブ…」と聞こえますので、その場合は受話器を置いてください。受話器をあげたポートはデータのダウンロードが終わるまで使用できません。もう片方のポートから発着信はできます。(データのダウンロードで1回線使用されているため通信または通話をしている場合は発信できません)
- データの書き換え後(ダウンロード終了後)、ACRランプが赤色から緑色に点灯するとスーパーACRが利用できます。
- この製品が日本テレコムに向け、ACRデータを受け取りのために自動的に交信することがあります。この時は通話料金はかかりません。
- ACRデータはスーパーACR申込み後、および通話料金改訂時などに最新のものが書き込まれます。

## スーパーACRご利用についてお願い

- この製品のアナログポートにスーパーACR／LCR機能付電話機を接続するときは、電話機のACR機能を「切」にしてください。同様に、この製品のアナログポートにスーパーACR／LCR以外のACR機能付電話機を接続する場合でも、ACR機能を「切」にしてご使用ください。

接続された電話機でもスーパーACR／LCR機能をご利用になりたい時は、この製品のダウンロード禁止設定（4-11ページ参照）をして日本テレコムお客様センターへお問い合わせください。

- ACRデータの受信を確実にを行うためには、アナログポートに接続した電話機を「留守」に設定してください。
- PBX内線にこの製品を接続してご使用になる場合スーパーACR機能はご使用になれません。スーパーACR機能を「切」にしてご使用ください。（4-9ページ参照）
- この製品のスーパーACR機能をご利用になられる場合は、以前にスーパーACR／LCRの機器をご使用になられていても再度手続きが必要になります。
- 下記の場合、以前ご利用されていた新電電にACRデータメンテナンスを停止していただくよう依頼してください。（連絡先は下記を参照してください。）
  - ・スーパーACR以外の自動電話会社接続機能（ACR／LCR）付ターミナルアダプタからこの製品と取り替えられたとき。
  - ・新電電のアダプターをご利用になられていた場合
  - ・この製品のアナログポートでスーパーACR以外の自動電話会社接続機能（ACR／LCR）付電話機をご利用していた場合

### 日本テレコム以外の新電電のお問い合わせ先

- ・DDI（0077）  
0077-779 または 0120-22-0077
- ・KDD（0070）  
東京：0120-03-0070 大阪：0120-06-0070

- ダイヤルイン機能を使用中で、スーパーACRをご利用される方は、「スーパーACRご利用申込書」の電話番号欄には、「契約者回線番号」をご記入ください。
- NTT／疑似コールウェイティング機能をご利用の場合ACRデータの取り込みが失敗することがあります。
- ACRデータを受信したい場合はNTT／疑似着信転送機能設定（5-26ページ参照）をOFFにしてください。万が一、着信転送先にスーパーACR／LCR電話機が接続されていた場合ダウンロードしてしまう可能性があり、その場合転送先の電話で正しくACR機能が働きません。
- スーパーACRを働かせたまま、NTT等の電話料金各種サービス（テレジョーズ、テレチョイス等）はご利用になれません。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アナログポートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録



**4-4**

申込書の記入例

# スーパーACR ご利用申込書 (兼日本テレコム市局番割引WIDE・年々割引)

日本テレコム株式会社 宛 日本テレコム電話サービス等契約約款に基づき、次のとおり申込みます。

|                                                                              |  |                  |  |      |  |                |  |   |  |      |  |   |  |       |  |  |  |
|------------------------------------------------------------------------------|--|------------------|--|------|--|----------------|--|---|--|------|--|---|--|-------|--|--|--|
| 申込種別コード                                                                      |  | 5711005          |  | ご記入日 |  | 西暦             |  | 年 |  | 月    |  | 日 |  |       |  |  |  |
| フリガナ                                                                         |  |                  |  |      |  |                |  |   |  |      |  |   |  |       |  |  |  |
| お名前                                                                          |  | (生年月日: 19 年 月 日) |  |      |  |                |  |   |  |      |  | 印 |  |       |  |  |  |
| 電話番号                                                                         |  | — — — — —        |  |      |  |                |  |   |  |      |  |   |  |       |  |  |  |
| ご住所                                                                          |  | 〒 □□□□ — □□□□    |  |      |  | 都道府県           |  |   |  | 区都市  |  |   |  |       |  |  |  |
| ご連絡先                                                                         |  | TEL( ) —         |  |      |  | (携帯・勤務先等)      |  |   |  |      |  |   |  |       |  |  |  |
| 局番割引                                                                         |  | WIDE             |  |      |  | 申込みます          |  |   |  | 年々割引 |  |   |  | 申込みます |  |  |  |
| <small>「局番割引WIDE」および「年々割引」は申込費用、基本料金は一切不要です。<br/>※お申込みの方は○印をおつけください。</small> |  |                  |  |      |  |                |  |   |  |      |  |   |  |       |  |  |  |
| ターミナルアダプターのメーカー名                                                             |  |                  |  |      |  | ターミナルアダプターの機種名 |  |   |  |      |  |   |  |       |  |  |  |

- 日本テレコムに申込書を提出される日を記入してください。
- お申込みを行う方の名前と生年月日を記入し、認印を押してください。
- お申込みを行う方の電話番号を記入してください。
- お申込みを行う方の住所を記入してください。
- 局番割引WIDEの申込みを希望されるかたは、○をつけてください。  
局番割引WIDEは、申込み費用、基本料金が一切不要です。
- 年々割引の申込みを希望されるかたは、○をつけてください。  
年々割引は、申込み費用、基本料金が一切不要です。
- ターミナルアダプターのメーカー名を記入してください。  
この製品の場合は、「サン電子株式会社」と記入してください。
- ターミナルアダプターの機種名を記入してください。  
この製品の場合は、「TS128NS」と記入してください。

- ご使用になる前に
- 設置方法
- 基本操作
- スーパーACR
- アログボードの機能
- リモート設定
- パソコンの接続・設定
- トラブル対処法
- リファレンス
- 電子マニュアルについて
- A 付録

### 日本テレコムからのACRデータ送信（約1～2週間後）

- 0088-80へお電話で申込まれた場合は約1週間後、それ以外は約1～2週間後、日本テレコムからスーパーACR機能を働かせるために必要なACRデータがISDN回線を通じて送られてきます。
- 日本テレコムからの電話に出ると「プ・プ・プ・・・・」と聞こえます。受話器を置いてください。
- データの書き換え中は日本テレコムからの電話に出なかった電話機から発信する事はできません。（2回線の内1回線をデータ受信に使用していますので、他に通話または通信をしている場合は発信できません）
- ACRデータの書き込みは3～4分かかります。
- ACRのデータの書き込みが完了して、ACRランプが赤色から緑色に点灯すると、  
『スーパーACRのご利用』  
ができます。

- ・ ACRデータが送られてくるまでは、スーパーACRは働きません。
- ・ 外出中などで電話に出られないときは、この製品のアナログポートにつないである電話機を必ず「留守」にセットしてください。

# ACR<sup>Super</sup> スーパーACRのご利用について

相手の電話番号をダイヤルするだけで、通話料金のおトクな市外回線を自動的に選んで電話をかけられます。

## 地域系新電電の市内回線も利用するには

地域系新電電の市内回線をご利用されるときも、必ず日本テレコムへお申込み後、地域系新電電への申込み手続きを行ってください。

地域系新電電にお申込み後、スーパーACRにて地域系新電電の市内回線を利用することを「日本テレコムお客様センター」にご連絡ください。

### 日本テレコムより、データが送られてきます。

地域系新電電の市内回線をご利用の際のダイヤル操作は以下のように、市外局番号からダイヤルしてください。

例) 03－1234－5678 (東京都23区の場合)  
045－123－4567 (横浜市の場合)

### 市外局番等について

- 市外局番号をダイヤルせずに市内番号からダイヤルされた場合は、NTT経由の通話となります。なお、地域系新電電の市内回線をご利用できるエリアは一部地域に限られます。(平成11年11月現在)  
詳しくは各地域系新電電にお問い合わせください。
- 地域系新電電の市内回線をカンタンに利用するためには、市外局番をダイヤルし忘れることがないように電話帳機能に「市外局番から登録」しておけば便利です。

## 日本テレコム以外の新電電も利用するには

日本テレコム(JT)以外の新電電をご利用されるときも、必ず日本テレコムにお申込みいただいた後、各新電電とご契約ください。

### DDI(0077)、KDD(0070)に加入されるときは

- 1.各新電電に申込みをします。
- 2.各新電電から開通通知が届きます。
- 3.開通通知がきたことを「日本テレコムお客様センター」へ連絡する。

### すでに日本テレコム以外の新電電に加入されているかたは

- 日本テレコムにお申込み後、日本テレコム以外の新電電に加入されていることを「日本テレコムお客様センター」にご連絡ください。
- スーパーACR以外のACR/LCR機能付ターミナルアダプタおよび電話機と取り替えたとき、または、新電電のアダプタをご利用のときは、データメンテナンスを停止してもらうようご依頼ください。

### 日本テレコムより、他の新電電をご利用するための必要なデータが送付されてきます。

日本テレコムと他の新電電やNTTと通話料金が同額の場合、スーパーACRを働かせて電話をかけると日本テレコムの回線が選択されます。(通話料金が同額の場合に日本テレコム以外をご利用になるには、スーパーACR機能を「切」にして(4-9ページ参照) 電話をかけてください。)

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

プログラムの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

日本テレコム以外の新電電のお問い合わせ先

- DDI (0077)  
0077-779 または 0120-22-0077
- KDD (0070)  
東京：0120-03-0070 大阪：0120-06-0070

その通話に限りスーパーACR機能を使わずに、特定の回線で電話をかけるには

NTT月極割引サービス（テレジョーズ）をご利用する場合や他の新電電の回線を選択して電話をかけるときは電話をする相手の市外局番の前に、ご利用になる回線の選択番号を押してください。（市内にかけるときは必要ありません）

| 回線     | 選択番号 |
|--------|------|
| NTT    | 0000 |
| 日本テレコム | 0088 |
| DDI    | 0077 |
| KDD    | 0070 |

（例） NTTを利用する場合

0000 ⇒ 03 - 0000 - 0000  
選択番号 市外局番 電話番号

市外の天気予報をお聞きになりたいとき、お聞きになりたい地域の市外局番の前に必ず0000を押してください。

（例） 東京の天気予報をお聞きになる場

0000-03-117

## スーパーACR機能を「入」または「切」にするには

スーパーACR機能の「入」/「切」を設定するには、以下の方法で設定を行います。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ 番号 ※1

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

⑨：スーパーACR機能を「切」にする場合

①：スーパーACR機能を「入」にする場合

## 通話料金の請求について

- 日本テレコムを利用した通話につきましては、日本テレコムより請求されます。  
(DDI、KDDを利用した場合も、各社から請求されます。)
- NTTからは、基本料金とNTTを利用した通話料金が請求されます。
- 日本テレコムの通話料金に関してご不明な点があるときは、「日本テレコムお客様センター」へお問い合わせください。

### 日本テレコムお客様センター

TEL：0088-82（無料）

（受付時間 9：00～21：00 年中無休）

FAX：0088-22-8900（無料）

（受付時間 24時間自動着信）

## ACRランプの表示について

ACRランプは、次の3種類のいずれかの表示をします。

緑色点灯：スーパーACRが利用できます

緑色点滅：新電電の回線が選ばれて電話をかけたとき（約10秒間点滅）

赤色点灯：データが書き込まれていないとき

ACR機能を「切」にしているとき

データがこわれているとき

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

プログラムの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

### こんなときは日本テレコムにご連絡ください

- 転居等により、住所、電話番号に変更があるとき  
お客様のターミナルアダプタに新しい地区のACRデータを書き込む必要がありますので、転居先にてACR初期設定操作（下記「スーパーACR初期設定操作」参照）を行い、「日本テレコムお客様センター」へご連絡ください。新しいデータが書き込まれるまで、スーパーACR機能は使えません。
- 利用する新電電を変更したとき → （データの書き換えが必要です）
- 電話番号を変更したとき
- 電源を10時間以上OFFにしていたとき

#### 日本テレコムお客様センター移転専用ダイヤル

TEL：0088-22-5110（無料）

（受付時間 9：00～21：00 年中無休）

#### 日本テレコムお客様センター

TEL：0088-82（無料）

（受付時間 9：00～21：00 年中無休）

FAX：0088-22-8900（無料）

（受付時間 24時間自動着信）

### スーパーACR初期設定操作

スーパーACR初期設定操作を行うには、以下の方法で設定を行います。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
入力が完了したら、受話器を置いてください。

※ ※ 5 4 0 # #

初期設定操作を行うと、この製品が日本テレコムに自動的に発信します。  
約1分で終了します。（通話料金はかかりません）

この製品のアナログポートにスーパーACR機能付電話機を接続し、電話機のスーパーACR機能を新たにご利用になりたいときは以下の手順で設定を行ってください。

- ① この製品のダウンロードを禁止に設定します。  
(下記「ダウンロードの設定を「禁止」にする場合」参照)
- ② 日本テレコムお客様センターへおご連絡ください。
- ③ スーパーACR機能付電話機にACRデータのダウンロードが完了後、この製品のダウンロードを許可に設定します。(下記「ダウンロードの設定を「許可」にする場合」参照)

## ダウンロードの設定

ダウンロードの設定をするには、以下の方法で設定を行います。

### ダウンロードの設定を「許可」にする場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 5 2 0 # #

### ダウンロードの設定を「禁止」にする場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 5 2 1 # #

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付録



# ACR<sup>Super</sup> デジタルモードご利用の際のご注意

スーパーACRは通話モードでの料金判定を行うため、デジタルモードと通話モードでは通話料金が異なることがあります。よって、出荷時にはデジタルモードでの発信ではスーパーACR機能が働かない設定となっております。デジタルモードでも通話モードと同様にスーパーACRをご利用になれる場合は下記操作の上ご利用ください。

## デジタルモードACRの設定

デジタルモードACRの設定をするには、以下の方法で設定を行います。

### デジタルモードACR機能を「入」にする場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 5 1 1 # #

### デジタルモードACR機能を「切」にする場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

※ ※ 5 1 0 # #

※ここで書かれているデジタルモードとは、データ通信のことを指します。

# ♪呼出音メロディーサービスについて

スーパーACRに加入し、ACRランプが緑色に点灯すると、日本テレコム(株)提供の「♪呼出音メロディーサービス」を利用して、この製品の呼出音にメロディーを10曲取り込むことができます。取り込みを行うと、この製品の呼出音は合計15種類から選ぶことができます。

## 日本テレコム(株)提供「♪呼出音メロディーサービス」

- 1 最新ヒット曲を含む30曲を準備し、うち一部の曲は定期的に入れ替えを行っています。くわしくは、日本テレコムから送られてくるパンフレットをごらんになるか、「日本テレコムお客様センター」0088-82（無料）へお問い合わせください。
- 2 メロディーの取りこみが終了するまでの間（約2分）、呼出音メロディーサービスセンター（東京03局）までの0088市外電話サービス料が必要です。
- 3 呼出音メロディーサービスセンターから流れる視聴音メロディーとこの製品に取りこんだ呼出音メロディーとでは、音質などの違いが生じる場合があります。
- 4 「♪呼出音メロディーサービス」のサービス提供期間に変更がある場合は、日本テレコムから送られるパンフレットにてお知らせ致します。

## メロディーデータをダウンロードする

アナログポートの電話機から操作します。

- 1 電話機の手話器を上げ(※) 8 8 (#)を押します。(呼出音メロディーサービスセンターへダイヤルされます)
- 2 呼出音メロディーサービスセンターが応答したあとは、ガイダンスに従って電話機を操作します。
- 3 曲番号を押す。(お好みの曲がないときは、手話器を置いて電話を切ってください。)
- 4 選んだ曲でよければ、(#)を押した後、手話器を置く。(ACRランプ緑点滅：ダウンロード中→ACRランプ緑点灯：ダウンロード終了)
- 5 ダウンロードが終了すると通信が切れ、ダウンロードしたメロディーが1回聞こえます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アナログポートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

## 呼出音を設定する

呼出音を設定するには、以下の方法で設定を行います。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から音楽※<sup>1</sup>が流れます。受話器を置いてください。

✳ ✳ 1 5 番号 ※<sup>2</sup> # #

※<sup>1</sup>：00、16とデータのない番号については音楽が鳴りません。

※<sup>2</sup>：00 : 呼出音を使用しない

01～05 : この製品が標準で持っている呼出音

06～15 : 呼出音メロディーサービスの呼出音

16 : 音声

## ご注意

- 「🎵 呼出音メロディーサービス」を利用中ですでにメロディーを10曲ダウンロードしている場合に呼出音メロディーをダウンロードするには、取りこんだメロディーを1曲以上消去してからご利用ください。（下記「ダウンロードしたメロディーデータを消去する」参照）
- 電話回線の状態によってはメロディーデータがうまくダウンロードされないことが場合があります。このときはもう一度操作をやり直してください。
- データをダウンロードしている時はダウンロード中のアナログポートのキャッチホン（コールウェイティング）機能は働きません。
- センターが話中で電話がつかないときは、一度電話を切って、しばらくしてから操作をやり直してください。
- データをダウンロードしている間は、呼出音メロディーサービスセンターに発信したポートの電話機からは電話をかけたり、受けたりすることはできません。

## ダウンロードしたメロディーデータを消去する

ダウンロードしたメロディーデータを消去するには、以下の方法で設定を行います。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
この製品から「ピー」という音がしたら、受話器を置いてください。

✳ ✳ 7 6 番号 ※<sup>1</sup> # #

※<sup>1</sup>：00 : メロディーデータを全消去

06～15 : 消去したいメロディーデータの番号

- 上記以外に付属のかんたん設定ユーティリティからも設定できます。

# 5 アナログポートの機能

この章では、この製品のアナログポートに接続されたアナログ電話機で利用可能なおもな機能を説明します。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

# i・ナンバー

- ・「i・ナンバー」は、INSネット64（INSネット64ライト含む）で電話番号をも一つ持つことができるサービスです。従って、自分専用の電話番号を持つことができます。
- ・「i・ナンバー」は、「家族共用の電話番号と自分専用の電話番号」「ファックス専用の電話番号」など用途に応じて使い分けることができます。  
詳細は、次ページの「i・ナンバーの利用例」を参照してください。

**i・ナンバーを使用するためには、NTTと契約が必要です。ダイヤルインとは同時に契約できません。（下記「i・ナンバーとダイヤルインの機能比較について」参照）**

## i・ナンバーとダイヤルインの機能比較について

|                  | i・ナンバー                  | ダイヤルイン                                             |
|------------------|-------------------------|----------------------------------------------------|
| 利用可能回線           | INSネット64<br>INSネット64ライト | 加入電話、INSネット64、<br>INSネット64ライト、<br>INSネット1500で利用が可能 |
| 利用可能番号数          | 2番号<br>(契約者回線番号を含む)     | 最大1000番号まで<br>(INSネットの場合)                          |
| 番号の追加            | 不可                      | お客様のお申し出の都度可能                                      |
| 代表での利用           | ×                       | ○                                                  |
| グローバル<br>着信機能の利用 | ○ ※1                    | ○                                                  |

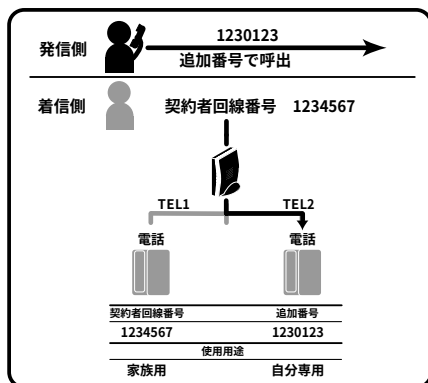
※1 i・ナンバーにはグローバル着信機能はありませんが、着信させるポートをTAで任意に設定することができます。

※ この機器の適用回線は、INSネット64、INSネット64ライトです。

## i・ナンバーの利用例

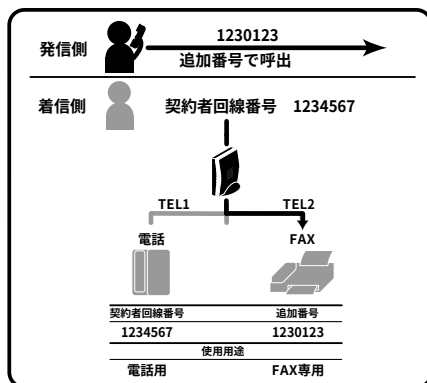
## ●もう一つの番号は自分専用に

「i・ナンバー」で増えた電話番号を自分専用にすれば、大切な電話を直接受けられます。



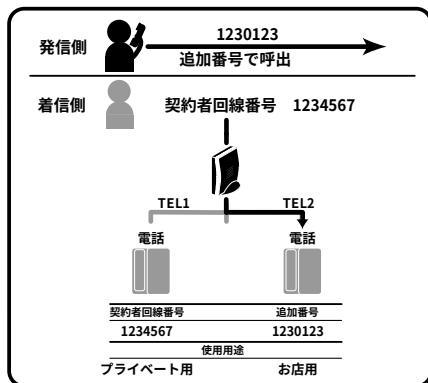
## ●FAXに専用の番号が持てる

もう一つの番号をFAX専用の番号にすれば、FAX着信に出てしまうこともなくなります。



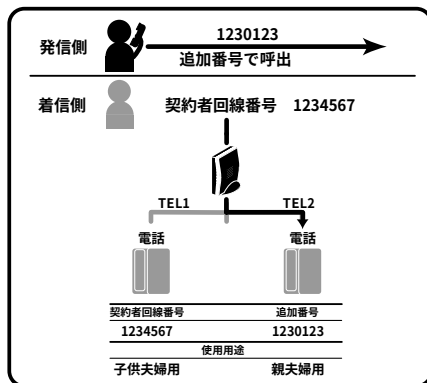
## ●お店とプライベートを使い分け

お店とプライベートで電話番号を使い分ければ、お客様からの電話に出てしまうこともなくなります。



## ●二世帯住宅には世帯別の電話番号を

世帯別に電話番号を持てば、取り次ぐ必要もなくなります。



1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アナログポートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

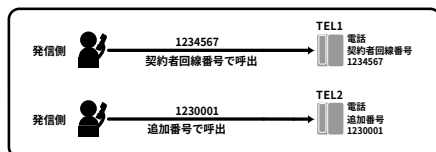
A

付録

i・ナンバーの一般的な設定例を2つあげて説明します。

### 設定例 1

TEL1に契約者回線番号宛の電話が、  
TEL2に追加番号宛の電話が、  
かかるように設定する場合の例を説明します。  
(右図参照)



| 製品の設定例     | TEL1    | TEL2 |
|------------|---------|------|
| ①i・ナンバーの設定 | 使用する    | 使用する |
| ②着信番号の設定   | 契約者回線番号 | 追加番号 |

電話機からの設定以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

まず、TEL1の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。1つ設定が終わると、この製品から「ピー」という音がしますので、一度受話器を置いて次の設定を始めてください。

#### ① i・ナンバーの設定

※ ※ 7 4 1 # #

#### ② 契約者回線番号の設定

※ ※ 7 5 0 # #

次に、TEL2の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

#### ① i・ナンバーの設定

※ ※ 7 4 1 # #

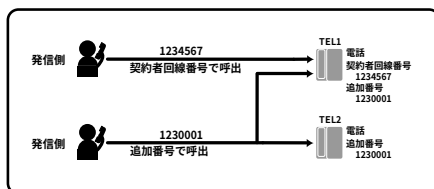
#### ② 追加番号の設定

※ ※ 7 5 1 # #

## 設定例 2

TEL1に契約者回線番号と追加番号宛の電話が、TEL2に追加番号宛の電話がかかるように設定する場合の例を説明します。(右図参照)

※追加番号にかかってきた場合は、TEL1、TEL2の両方が呼び出されます。



| 製品の設定例      | TEL1         | TEL2 |
|-------------|--------------|------|
| ① i・ナンバーの設定 | 使用する         | 使用する |
| ② 着信番号の設定   | 契約者回線番号と追加番号 | 追加番号 |

電話機からの設定以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

まず、TEL1の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。1つ設定が終わると、この製品から「ピー」という音がしますので、一度受話器を置いて次の設定を始めてください。

## ① i・ナンバーの設定

※ ※ 7 4 1 # #

## ② 契約者回線番号と追加番号の設定

※ ※ 7 5 2 # #

次に、TEL2の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

## ① i・ナンバーの設定

※ ※ 7 4 1 # #

## ② 追加番号の設定

※ ※ 7 5 1 # #

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アラゲボートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

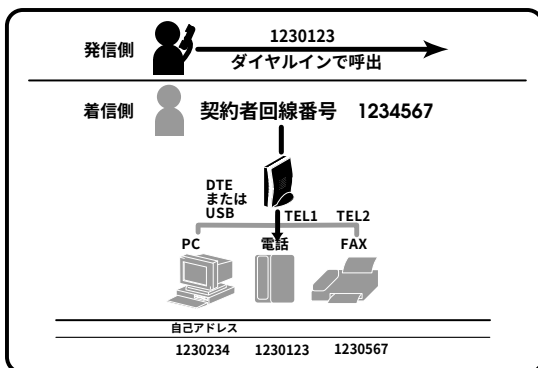


# ダイヤルイン番号

ダイヤルイン番号を使用すると、1本のINSネット64回線に接続されている各機器に個別の番号を付けることができます。

**ダイヤルイン番号を使用するためには、NTTと契約が必要です。**

**i・ナンバーとは同時に契約できません。**



DTEまたはUSBポート、アナログポートに接続されている機器1台ごとに、別々の自己アドレスを付けることができます。ダイヤルイン番号で呼び出した場合は、該当する自己アドレスを設定された機器のみが応答します。

- INSボイスワープ、なりわけサービスを契約者回線番号でご利用になる場合は、自己アドレスに契約者回線番号を設定してください。

## ダイヤルイン番号と全番号呼出(グローバル着信) 応答設定(右ページ参照)の関係図

| 全番号呼出<br>応答設定<br>発側 | 着信側 | 全番号呼出(グローバル着信) 応答する          |                              | 全番号呼出(グローバル着信) 応答しない |                  |
|---------------------|-----|------------------------------|------------------------------|----------------------|------------------|
|                     |     | 自己アドレス<br>非設定(出荷時設定)         | 自己アドレス<br>設定                 | 自己アドレス<br>非設定        | 自己アドレス<br>設定     |
| 契約者回線番号<br>(全番号呼出)  | 着信  | 着信                           | 着信                           | 着信しない                | 着信しない            |
| ダイヤルイン番号<br>で発信     | 着信  | 一致した場合着信<br>一致しない場合<br>着信しない | 一致した場合着信<br>一致しない場合<br>着信しない | 着信しない                | 一致した場合着信         |
|                     |     |                              |                              |                      | 一致しない場合<br>着信しない |

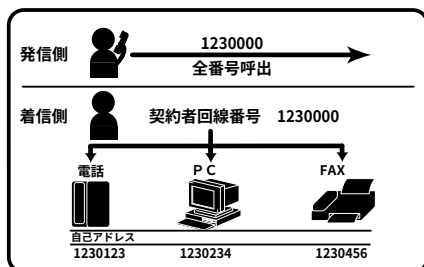
# 全番号呼出応答（グローバル着信応答）

自己アドレスを設定したポート（TEL1/TEL2/DTEまたはUSB）に接続されている通信機器は、個別に付けた番号（自己アドレス）による呼び出し以外は応答させなくすることができます。

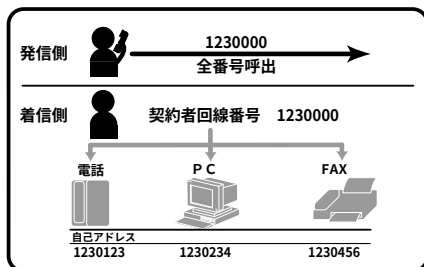
**全番号呼出応答機能を使用するためには、NTTとグローバル着信利用の契約が必要です。**

## 契約者回線番号（全番号呼出）の場合

### 全番号呼出応答の場合



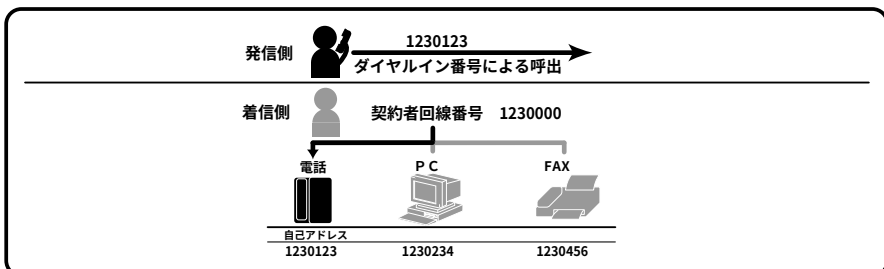
### 全番号呼出応答解除の場合



契約者回線番号で呼び出した場合は、回線に接続されている全ての機器を呼び出します（全番号呼出）。全番号呼出に対しては、全番号呼出応答（グローバル着信する）に設定されている機器は応答しますが、グローバル着信解除されている機器は応答しません。

## ダイヤルイン番号（個別番号）呼出の場合

### 全番号呼出応答の場合



ダイヤルイン番号で呼び出した場合は、一致する自己アドレスが設定されている機器のみを呼び出します。

サブアドレスについて全番号呼出（グローバル着信）の設定を行うこともできます。詳しくは、5-10ページのサブアドレスの説明を参照してください。

1  
ご使用に  
なる前に

2  
設置方法

3  
基本操作

4  
スーパー  
ACR

5  
ファク  
ポート  
の機能

6  
リモート  
設定

7  
パソコンの  
接続・設定

8  
トラブル  
対処法

9  
リファレンス

10  
電子マニュアル  
について

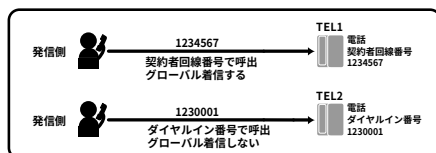
A  
付録

# ダイヤルインの設定例

ダイヤルイン番号の利用方法と、一般的な設定例を2つあげて説明します。

## 設定例 1

TEL1に契約者回線番号宛の電話が、  
TEL2にダイヤルイン番号宛の電話が、  
かかるように設定する場合の例を説明し  
ます。(右図参照)



| 製品の設定例   | TEL1               | TEL2                |
|----------|--------------------|---------------------|
| ①自己アドレス  | 契約者回線番号 (市外局番から入力) | ダイヤルイン番号 (市外局番から入力) |
| ②グローバル着信 | グローバル着信する          | グローバル着信しない          |

電話機からの設定以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

まず、TEL1の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。1  
つ設定が終わると、この製品から「ピー」という音がしますので、一度受話器を置いて次  
の設定を始めてください。

### ①自己アドレスの設定

|   |   |   |   |                    |   |   |
|---|---|---|---|--------------------|---|---|
| ※ | ※ | 6 | 0 | 契約者回線番号 (市外局番から入力) | # | # |
|---|---|---|---|--------------------|---|---|

### ②グローバル着信の設定

|   |   |   |   |          |   |   |
|---|---|---|---|----------|---|---|
| ※ | ※ | 0 | 1 | 1 : 着信する | # | # |
|---|---|---|---|----------|---|---|

次に、TEL2の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

### ①自己アドレスの設定

|   |   |   |   |                     |   |   |
|---|---|---|---|---------------------|---|---|
| ※ | ※ | 6 | 0 | ダイヤルイン番号 (市外局番から入力) | # | # |
|---|---|---|---|---------------------|---|---|

### ②グローバル着信の設定

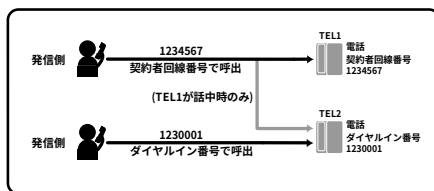
|   |   |   |   |           |   |   |
|---|---|---|---|-----------|---|---|
| ※ | ※ | 0 | 1 | 0 : 着信しない | # | # |
|---|---|---|---|-----------|---|---|

自己アドレスの設定は「i・ナンバー」を契約されたときも使用します

- i・ナンバーの追加番号を番号通知する場合は、追加番号で使用するアナログポートの自己アドレスに追加番号を設定してください。

## 設定例 2

TEL1に契約者回線番号宛の電話が、TEL2にダイヤルイン番号宛の電話がかかるように設定し、TEL1が話中の時はTEL2に契約者回線番号宛の電話が流れるように設定する場合の例を説明します。(右図参照)



| 製品の設定例   | TEL1               | TEL2      |
|----------|--------------------|-----------|
| ①自己アドレス  | 契約者回線番号 (市外局番から入力) | 番号は設定しない  |
| ②グローバル着信 | グローバル着信する          | グローバル着信する |
| ③優先着信    | TEL1を優先着信          |           |

電話機からの設定以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

まず、TEL1の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。1つ設定が終わると、この製品から「ピー」という音がしますので、一度受話器を置いて次の設定を始めてください。

### ①自己アドレスの設定

※ ※ 6 0 契約者回線番号 (市外局番から入力) # #

### ②グローバル着信の設定

※ ※ 0 1 ① : 着信する # #

### ③優先着信の設定

※ ※ 7 3 ① : TEL1優先 # #

次に、TEL2の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

### ①自己アドレスの設定

※ ※ 6 0 # #

### ②グローバル着信の設定

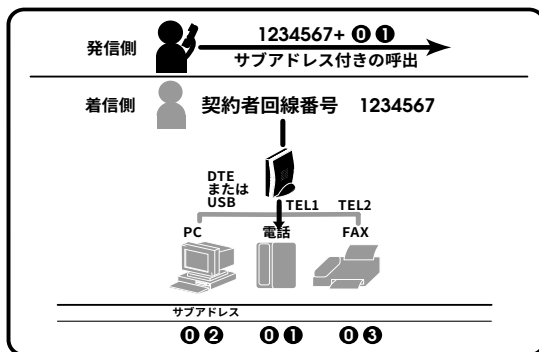
※ ※ 0 1 ① : 着信する # #

- 1 ご使用になる前に
- 2 設置方法
- 3 基本操作
- 4 スーパーACR
- 5 フォワードの機能
- 6 リモート設定
- 7 ハブの接続・設定
- 8 トラブル対処法
- 9 リファレンス
- 10 電子マニュアルについて
- A 付録

# サブアドレス

サブアドレスを設定すると、1本のINSネット64回線に接続されている各機器に個別の番号を付けることができます。

アナログ電話回線からは、サブアドレスを付けて呼び出すことはできません。  
サブアドレスを使用する場合は、発信側の機器がサブアドレス機能を有する場合に限ります。



DTEまたはUSBポート、アナログポートに接続されている機器1台ごとに、自己サブアドレスを付けることができます。契約者回線番号の後にサブアドレス付きで呼び出した場合は、該当する自己サブアドレスを設定された機器のみが応答します。

## サブアドレスと全番号呼出応答設定（5-7ページ参照）の関係図

| 全番号呼出<br>応答設定      | 全番号呼出(グローバル着信)応答する     |                              | 全番号呼出(グローバル着信)応答しない |                              |
|--------------------|------------------------|------------------------------|---------------------|------------------------------|
|                    | 自己サブアドレス<br>非設定(出荷時設定) | 自己サブアドレス<br>設定               | 自己サブアドレス<br>非設定     | 自己サブアドレス<br>設定               |
| グローバルなし<br>(全番号呼出) | 着信                     | 着信                           | 着信                  | 着信しない                        |
| サブアドレス<br>付きで発信    | 着信                     | 一致した場合着信<br>一致しない場合<br>着信しない | 着信しない               | 一致した場合着信<br>一致しない場合<br>着信しない |

- サブアドレスについても全番号呼出応答を設定できます。
- サブアドレスの全番号呼出応答を設定する場合は、アナログ電話機の「サブアドレスグローバル着信」コマンド（9-2ページ参照）で行います。
- サブアドレスを設定して全番号呼出応答しない（グローバル着信しない）に設定した場合や、サブアドレスを付けて発信できない通信網（アナログ回線など）から発信した場合は、着信できません。

サブアドレス機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ ※ 6 1 サブアドレス番号※1 # #

※1：サブアドレス番号は19桁以内で入力してください。  
サブアドレス番号を消去する場合は何も入力しません。

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アラームボート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

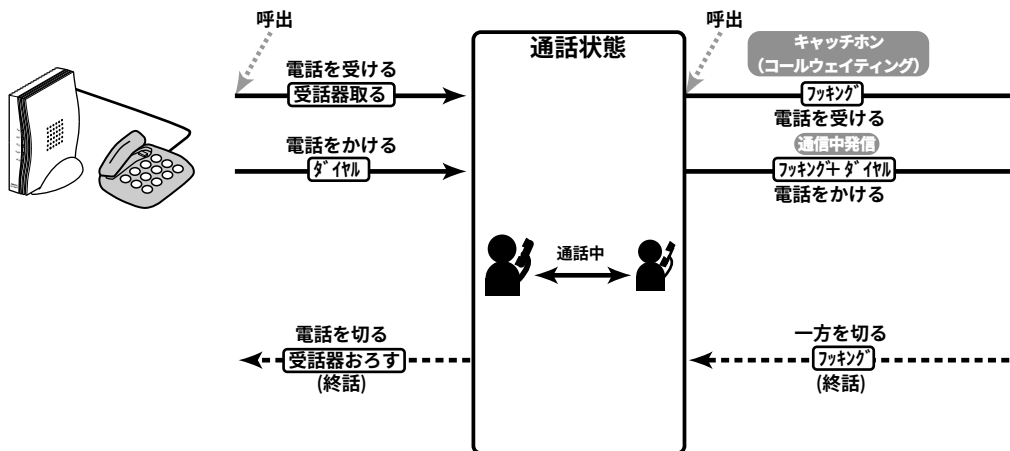
A

付 録

# フレックスホン機能

この製品は、NTTのフレックスホン機能に対応しています。以下の通話形態が利用可能です。また、ほぼ同様の疑似機能を持っています。

**フレックスホン機能を利用する場合はNTTと契約が必要です。**



## キャッチホン（コールウェイティング）機能

通話中に他から着信があった場合に、通話中の相手を保留にした状態で、その着信に応答して通話することができます。また、通話する相手と保留にする相手を切り替えることもできます。

キャッチホン（コールウェイティング）機能については5-14ページ、疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能については5-18ページの説明を参照してください。

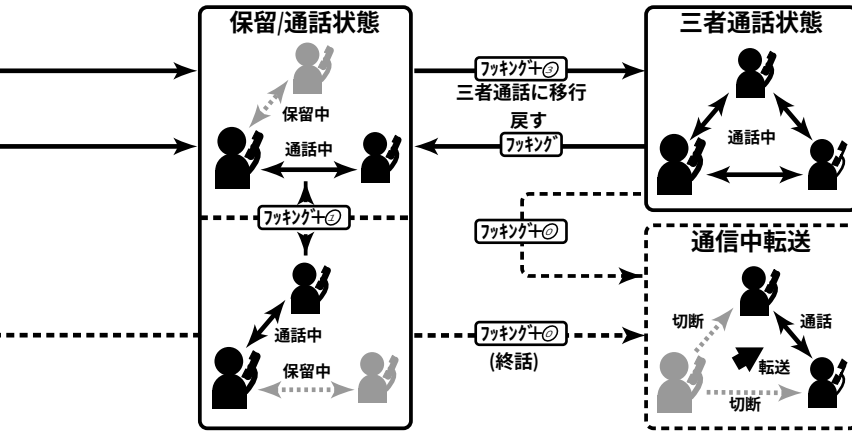
**キャッチホン（コールウェイティング）機能を利用する場合はNTTと契約が必要です。**

## 着信転送機能

着信した通信に応答する前に、他の番号に転送することができます。着信転送機能、疑似着信転送機能については5-24ページ以降の説明を参照してください。

**着信転送機能を利用する場合はNTTと契約が必要です。**

●フッキングとは、電話機のフックを一瞬押さえる動作のことです。



### 三者通話機能

通信中に第三者を呼び出して、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話（切替モード）、または三者で同時に通話（三者通話ミキシングモード）できます。

三者通話機能については5-19ページ、疑似三者通話機能については5-21ページの説明を参照してください。

三者通話機能を利用する場合はNTTと契約が必要です。

### 通信中転送機能

現在行っている通信を第3者に転送することができます。また、三者通話の状態から移行することもできます。

通信中転送機能については5-22ページの説明を参照してください。

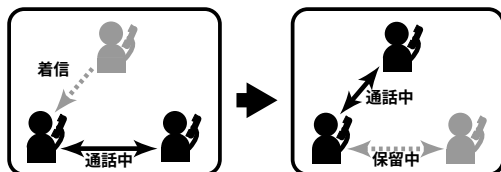
通信中転送機能を利用する場合はNTTと契約が必要です。

- 1 ご使用になる前に
- 2 設置方法
- 3 基本操作
- 4 スーパーACR
- 5 アラームの機能
- 6 リモート設定
- 7 ハブの接続・設定
- 8 トラブル対処法
- 9 リファレンス
- 10 電子マニュアルについて
- A 付録



# キャッチホン（コールウェイティング）機能

この製品のアナログポートに接続されたアナログ電話機で通話中に他から着信があった場合、電話機のフックを一瞬押すと通話の相手を保留にした状態でその着信に応答して通話することができます。



キャッチホン（コールウェイティング）機能を利用する場合はNTTと契約が必要です。

## キャッチホン（コールウェイティング）機能の使いかた

- 1 通話中に他から着信があると、受話器から断続音が聞こえます。



- 2 電話機のフックを一瞬押してください。  
割り込んできた電話を受話します。



この機能は、アナログポートのポートモードが「デコキ」のモードのときのみ有効になります。「デム」「FAX」のモードのときは機能しません。

キャッチホン（コールウェイティング）機能の詳細な使用方法については、5-16ページ以降を参照してください。

この製品にはNTTキャッチホン（コールウェイティング）の契約なしで、ほぼ同様の機能が実現できる「疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能」（5-18ページ参照）を使用することもできます。

- フックを一瞬押す動作（フッキング）がうまく行かない場合は、5-28ページを参照してフッキング時間を調整します。

キャッチホン（コールウェイティング）機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

キャッチホン（コールウェイティング）機能を設定するアナログポートに接続した電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ 番号※1

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

⑨：使用しない、①：NTTキャッチホン（コールウェイティング）使用

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

## 通話相手を切り換える場合

### 三者通話機能、通信中転送機能を両方使用していない場合

#### 1 通話中に電話機のフックを一瞬押してください。

現在通話中の相手は保留となり、保留音が聞こえます。



### 三者通話機能、通信中転送機能を両方または、いずれか一方使用している場合

三者通話機能（5-19ページ参照）か、通信中転送機能（5-22ページ参照）を使用している場合は、上記の動作に加えて以下のいずれかの動作を選択できます。

#### 1 通話中に電話機のフックを一瞬押してください。

受話器から「プープープープー」という音が聞こえます。

現在通話中の相手は保留となり、保留音が聞こえます。



この状態で、以下のいずれかを選択できます。

#### A 電話機の①ボタンを押した場合

通話中の相手と保留中の相手が切り替わります。

- ・ボタンを押さなくても、5秒後には相手が切り替わります。



#### B 電話機の③ボタンを押した場合

通話中の相手と保留中の相手と三者で通話できます。

- ・この操作は、三者通話機能（5-19ページ参照）を利用している場合のみ選択可能です。



#### C 電話機の④ボタンを押した場合

通話中と保留中の相手に通話を転送し、切断します。

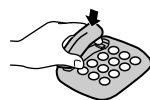
- ・この操作は、通信中転送機能（5-22ページ参照）を利用している場合のみ選択可能です。



## 電話を完全に切る場合

### 1 受話器を置いてください。

現在通話していた相手との通話は終話します。



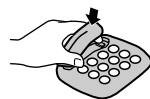
### 2 保留中の相手があった場合は、呼出ベルが鳴りますので、受話器を上げてください。

保留していた相手と通話できます。



### 3 受話器を置いてください。

保留していた相手との通話も終話します。



## 通話中の相手から切られた場合

通話中の相手から電話を切られた場合は、まだ保留中の相手がいる場合に受話器から「プープープー」という音が聞こえます。

この状態で、以下のいずれかを選択できます。

### A 電話機のフックを一瞬押した場合

保留していた相手と通話できます。



### B 受話器を置いた場合

保留中の相手との通話も終話します。



- フックを一瞬押す動作（フッキング）がうまく行かない場合は、5-28ページを参照してフッキング時間を調整します。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アラゲボートの機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

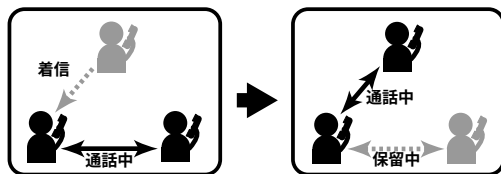
電子マニュアル  
について

A

付録

### 疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能について

この製品は、疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能を装備しています。疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能を使用すると、NTTと契約なしでキャッチホン（コールウェイティング）サービスとほぼ同様の機能を使用することができます。



- 疑似キャッチホン（コールウェイティング）によって保留している間は、通信回線（Bチャンネル）2本を使用しているため、他の機器は通信できません。
- 疑似キャッチホン（コールウェイティング）は、通信回線（Bチャンネル）に空きがないと使用できません。
- 疑似キャッチホン（コールウェイティング）からは、通信中転送/三者通話には移行できません。
- 疑似キャッチホン（コールウェイティング）の保留中に流れる保留音は、この製品で設定できます。詳しくは5-29ページを参照してください。

この機能は、アナログポートのポートモードが「デフォルト」のモードのときのみ有効になります。「デフォルト」「FAX」のモードのときは機能しません。

疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能を利用する場合は、以下の方法で設定

疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能を設定するアナログポートに接続した電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

＊ ＊ 0 4 番号※1 # #

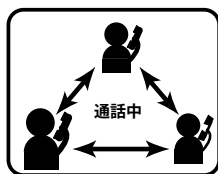
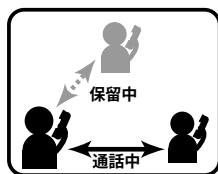
※1：以下のいずれかの番号を入力します。

①：使用しない、②：疑似キャッチホン（コールウェイティング）

- 上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

# 三者通話機能

通話中の相手と保留中の相手があるとき、三者で同時に通話（三者通話ミキシングモード）ができます。



三者通話機能を利用する場合はNTTと契約が必要です。

この機能は、アナログポートのポートモードが「デフォルト」のモードのときのみ有効になります。

## 三者通話を始めるには

**1** キャッチホン（コールウェイティング）や通信中発信によって、一方を通話中、一方を保留中にしてください。

**2** 通話中に電話機のフックを一瞬押してください。

受話器から「プープープープー」という音が聞こえます。

**3** 音が聞こえている間に電話機の**③**ボタンを押してください。

三者で通話できます。

※再度電話機のフックを一瞬押した場合も、三者通話開始できます。



## 三者通話の終了

三者通話は、以下のいずれかの方法で終了できます。

**A** 通話中に電話機のフックを一瞬押してください。

三者通話前の状態（一方が通話中、一方が保留中）に戻ります。

**B** 三者通話中に受話器を置いてください。

電話が切れます。



## 通話中の相手から切られた場合

相手から電話を切られた場合は、受話器から「プープープープー」という音が聞こえます。

この状態で、以下のいずれかを選択できます。

**A** 電話機のフックを一瞬押した場合

保留していた相手と通話できます。

**B** 受話器を置いた場合

保留中の相手との通話も終話します。



1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アナログポートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

三者通話機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

三者通話機能を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

✳ ✳ 0 5 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

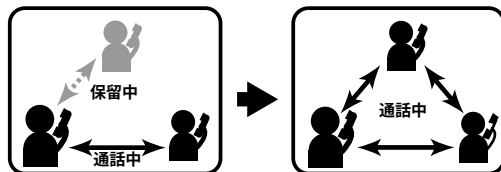
⑨：使用しない、①：NTT三者通話を使用

- 上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。
- フックを一瞬押す動作（フッキング）がうまく行かない場合は、5-28ページを参照してフッキング時間を調整します。

この製品にはNTT三者通話の契約なしで、ほぼ同様の機能が実現できる「疑似三者通話機能」（5-21ページ参照）を使用することもできます。

## 疑似三者通話機能について

この製品は、疑似三者通話機能を装備しています。疑似三者通話機能を使用すると、NTTと契約なしで三者通話機能サービスとほぼ同様のサービスを行えます。



- 疑似三者通話中に、フッキングしてから電話機の **①** ボタンを押すと、疑似通信中転送モードに切り換え、疑似通信中転送機能（5-22ページ参照）が使用できます。なお、疑似通信中転送モードから疑似三者通話モードへ戻ることはできません。また、電話機の **③** ボタンを押すとミキシングモードになります。
- 疑似三者通話機能は通信回線（Bチャンネル）に空きがないと使用できませんが、疑似三者通話の優先設定を行うと、空いている回線がない場合でもNTT三者通話を利用して疑似三者通話を行うことができます。  
※ この機能を使うためにはNTT三者通話の契約が必要です。
- 疑似三者通話の保留中に流れる保留音は、この製品で設定できます。詳しくは5-32ページを参照してください。

この機能は、アナログポートのポートモードが「デフォルト」のモードのときのみ有効になります。「モデム」「FAX」のモードのときは機能しません。

疑似三者通話機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

疑似三者通話機能を設定するアナログポートに接続された電話機の手話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。手話器を置いてください。

**＊ ＊ ① ② 番号※1 # #**

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

①：使用しない、②：疑似三者通話、③：疑似三者通話優先

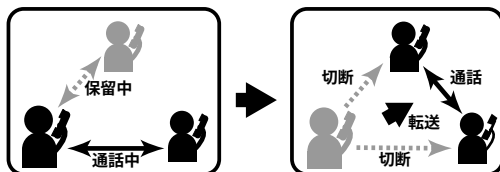
- 上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

|    |             |
|----|-------------|
| 1  | ご使用になる前に    |
| 2  | 設置方法        |
| 3  | 基本操作        |
| 4  | スーパーACR     |
| 5  | アナログポートの機能  |
| 6  | リモート設定      |
| 7  | パソコンの接続・設定  |
| 8  | トラブル対処法     |
| 9  | リファレンス      |
| 10 | 電子マニュアルについて |
| A  | 付録          |



# 通信中転送機能

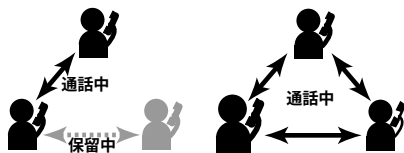
現在行っている通信を第3者に転送することができます。また、三者通話の状態から移行することもできます。



通信中転送機能を利用する場合は  
NTTと契約が必要です。

通信中転送機能を行うためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 三者通話を通信中転送するためには、少なくとも一人は電話をかけてきた相手である必要があります。
  - 通信中発信による保留/通話状態を通信中転送するためには、最初の相手は電話をかけてきた相手である必要があります。
- ※ 疑似通信中転送時は契約は必要ありません。  
操作は、通信中転送と同様に行えます。



## 通信中転送を始めるには

- 1 通話/保留中か三者通話中に電話機のフックを一瞬押してください。

受話器から「プープープープー」という音が聞こえます。

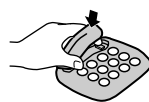


- 2 音が聞こえている間に電話機の **0** ボタンを押してください。



- 3 受話器を置いてください。

通話が転送されます。



- フックを一瞬押す動作（フッキング）がうまく行かない場合は、5-28ページを参照してフッキング時間を調整します。

通信中転送機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

通信中転送機能を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

✳ ✳ 0 6 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

⑥：使用しない、①：使用する

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

# 着信転送機能

着信した通話に応答する前に、他の番号に転送することができます。

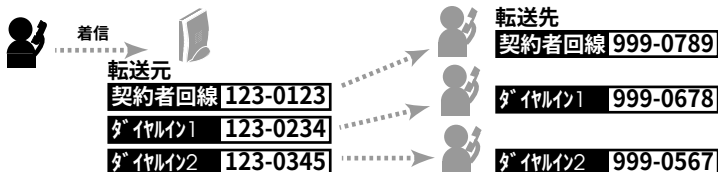


着信転送機能を利用する場合は  
NTTと契約が必要です。

- 設定した回数の呼出音が鳴った後、指定の転送先に電話が転送されます。
- 呼出音が鳴っている間に受話器を取ると、転送せずにそのまま通話することができます。
- 着信転送はINSボイスワープとは異なります。また、INSボイスワープセレクトのように相手の番号によって転送するかしないかを設定することはできません。  
※疑似着信転送では可能です。
- 着信転送時、発信者番号は通知しません。

## 転送先の区別

転送先は、転送元の番号ごとに別々に設定することができます。



## 必要な設定

着信転送機能を利用する場合、以下の設定が必要です。

- **着信転送/疑似着信転送の設定 (5-25ページ参照)**  
着信転送機能を利用するかどうか設定します。
- **転送元/転送先電話番号の設定 (5-25ページ参照)**  
転送元と転送先の電話番号を設定します。
- **呼出回数の設定 (5-25ページ参照)**  
着信転送するまでに呼出音が鳴る回数を設定します。
- **音声ガイダンスの設定 (5-26ページ参照)**  
着信転送時に音声ガイダンスが流れるかどうか設定します。

着信転送機能を利用する場合は、次ページ以降のいずれかの方法で設定します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

### 着信転送 / 疑似着信転送の設定

この製品にはNTT着信転送の契約なしで、ほぼ同様の機能が実現できる「疑似着信転送機能」を使用することもできます。

疑似着信転送機能は、通信回線（Bチャンネル）に空きがないと利用できません。

※1 0 1 2 3 4 番号※1 # #

※1 0：利用しない、1：NTT着信転送、2：疑似着信転送：（全番号）、  
3：疑似着信転送：（共通電話帳登録のみ）、4：疑似着信転送：（共通電話帳未登録のみ）

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

### 転送元 / 転送先電話番号の設定

転送元と転送先の電話番号を設定します。

※2 0 1 2 番号※2 転送元番号  
（市外局番より入力） \* 転送先番号  
（市外局番より入力） # #

※2 0：契約者回線番号  
1：ダイヤルイン1（追加番号）  
追加番号とは、i・ナンバーの番号です。  
2：ダイヤルイン2

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

### 呼出回数の設定

着信転送するまでに呼出音が鳴る回数を設定します。

設定した回数（0～9回迄）だけ呼出音が鳴った後、転送を開始します。

ただし、設定した回数が0回のときは、呼び出し音が鳴らずに転送を開始します。

※3 0 1 2 3 4 希望する回数※3 # #

※3 0：呼び出しなし、1～9：呼び出し回数1～9回

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

続いて、次ページの設定を行ってください。

- 1  
ご使用になる前に
- 2  
設置方法
- 3  
基本操作
- 4  
スーパーACR
- 5  
アラームの機能
- 6  
リモート設定
- 7  
パソコンの接続・設定
- 8  
トラブル対処法
- 9  
リファレンス
- 10  
電子マニュアルについて
- A  
付録

### 音声ガイダンスの設定

着信転送時に音声ガイダンスが流れるかどうか設定します。

※ 疑似着信転送では、音声ガイダンスは流れません。

リモートは転送先、ローカルは転送元のことをさします。

- リモートON設定：転送先で電話が転送されてくることを知らせる音声ガイダンス（「電話が転送されますので、そのままお待ちください」）が流れます。
- ローカルON設定：転送元（電話をかけてきた側）で電話が現在転送中であることを知らせる音声ガイダンス（「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください」）が流れます。

疑似着信転送の場合は、音声ガイダンスは流れません。

✳ ✳ 3 2 番号※4 # #

※4 0：転送トークあり/転送元トークあり、1：転送トークあり/転送元トークなし、  
2：転送トークなし/転送元トークあり、3：転送トークなし/転送元トークなし

- 上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

以上で着信転送機能の設定は完了です。この製品からこの製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

### 疑似着信転送機能について

この製品は、疑似着信転送機能を装備しています。疑似着信転送機能を使用すると、NTTと契約なしで着信転送機能サービスとほぼ同様のサービスを行えます。（5-25ページ参照）

- 疑似着信転送時、転送番号通知機能（5-27ページ参照）を設定することにより、発信者番号通知のする/しない/INSネット64契約どおりの設定が選べます。

# 転送番号通知機能（疑似着信転送時）

疑似着信転送設定を使用しているときに、発信者番号通知の設定ができます。  
なお、NTT着信転送設定は発信者番号の通知は行えません。

## 電話機で設定する場合

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ 番号※1

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

①：通知しない、②：通知する、③：INSネット64契約通り

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付録

# フッキング時間の設定

フックを一瞬押す動作（フッキング）がうまくいかない場合、フッキング時間を調整することができます。

- この製品は、フックが押された時間が一定の時間以下の場合、通常の「受話器をおろす」動作とは異なる「フッキング動作」として認識します。この設定が短すぎる場合、フックを押した時間が少しでも長いと「フッキング動作」として認識されず、完全に受話器をおろしたものと動作してしまいます。フッキングがうまくいかない場合は、フッキング時間を長めに調整してください。
- フッキング時間の設定が長すぎる場合は、受話器をおろして電話を切った場合でも「フッキング動作」として認識されてしまい、正常に電話が切れない場合があります。フッキング時間は適切な時間に設定してください。

## フッキング時間の設定

フッキング時間を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ ※ 7 2 番号※1 # #

※1：①①～①⑤のいずれかの番号を入力します。

設定は、0.2秒～3秒までの間で、0.2秒毎に設定できます。

①①：01×200mS=200mS（0.2秒）

①②：02×200mS=400mS（0.4秒）

⋮ ⋮

①⑤：15×200mS=3000mS（3秒）

- 上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

# 保留音について

相手側に流れる保留音について説明します。

## ● NTTフレックスホン（三者通話/通信中転送）の場合

ダイヤルするためにフッキングしますが、このフッキングしたときに相手側へ NTTから保留音が流れます。三者通話／通話中転送はNTTと契約が必要です。

## ● 疑似フレックスホン（疑似三者通話/疑似キャッチホン（コールウェイティング））の場合

保留中の相手側へ保留音が流れます。以下の方法で設定します。

## ● 内線転送の場合

内線転送中は保留中の相手に保留音が流れます。

保留音を流すときはフレックスホン機能の設定が必要です。

### 疑似フレックスホンの保留音設定

保留音を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ 1 4 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

- ①：保留音なし
- ②：保留音あり [Sicillienne]
- ③：保留音あり [Inventio\_IV]
- ④：保留音あり [Fur\_Elise]

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー ACR

5

アドゲートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

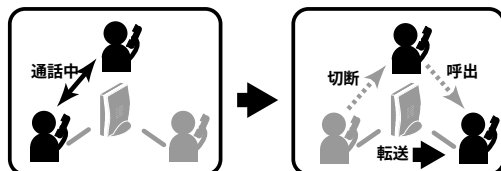
A

付録



# 内線転送機能

通話中の電話を他のアナログポートの電話機に転送します。



## 内線転送を始めるには

- 1 通話中に電話機のフックを一瞬押してください。  
受話器から「プップププッ・・・」という音が聞こえます。



- 2 音が聞こえている間に、転送する先に応じて、電話機から以下のパラメータを入力します。

疑似フレックスホンの保留音を設定している場合は、保留中の相手に設定された保留音が流れます。

呼出音「プル、プル、プル」が聞こえます。

TEL1 : (X) ①、TEL2 : (X) ②



- 3 転送先の相手が受話器をあげます。



- 4 転送元の受話器を置くと、転送が完了します。



- フックを一瞬押す動作（フッキング）がうまく行かない場合は、5-28ページを参照してフッキング時間を調整します。

内線転送機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

内線転送機能を設定するアナログポートに接続された電話機の手話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。手話器を置いてください。

✳ ✳ 0 7 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

①：使用しない、②：使用する

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

# 発信者番号通知機能

発信者番号通知機能を利用すると、発信者番号（契約者回線番号またはダイヤルイン番号）を着信者側に通知します。

発信者番号通知サービスには通話ごと非通知、回線ごと非通知、常時通知拒否の3種類があります。契約時の発信者番号通知サービスの設定によっては、この製品の設定に注意が必要です。

| TS128設定    | ツツル   | ツツナイ  | INSケイオホツツ<br>(出荷時設定) |
|------------|-------|-------|----------------------|
| INSネット64契約 |       |       |                      |
| 通話ごと非通知    | 通知する  | 通知しない | 通知する                 |
| 回線ごと非通知    |       |       | 通知しない                |
| 常時通知拒否     | 通知しない |       |                      |

- 通話ごと非通知を選択された場合は、出荷時の設定では常に発信者番号通知がされます。アナログポートからの発信で発信者番号通知をしたくない場合は、ダイヤルする電話番号の前に「184」を付けてダイヤルしてください。またこの契約をさせてもこの製品の設定で通知しないという設定にする事も可能です。
- 回線ごと非通知を選択された場合は、出荷時の設定では常に発信者番号通知がされません。アナログポートからの発信で発信者番号通知をしたい場合は、ダイヤルする電話番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。またこの契約をさせてもこの製品の設定で通知するという設定にする事も可能です。
- 常時通知拒否を選択された場合はどのような設定を行っても発信者番号通知はされません。

発信者番号通知機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

発信者番号通知機能を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ ※ 0 3 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

②：通知しない、①：通知する、②：INSネット64契約通り通知

- 上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

※ i・ナンバーをご利用の場合は、発信者番号通知機能で「通知する」の設定を行うと契約者回線番号が通知されます。追加番号を通知するには、追加番号を使用するアナログポートに自己アドレスを設定してください。(5-8ページ参照)

# なりわけ機能

NTTのINSなりわけサービスを利用すると、着信時相手によって異なった呼出音を鳴らすことができます。

なりわけ機能を利用する場合は、NTTと利用契約を結んでください。

詳しくは、最寄りのNTTまでお問い合わせください。

- ボイスワープセレクトと重複して契約された場合には、登録リストを共用してお使いいただくため、ボイスワープセレクト用の電話番号となりわけサービス用の電話番号を別々に登録することはできません。
- 代表サービスをご契約の場合は、代表群内で同一の登録リストを共用する方式と、回線毎に登録リストを保持する方式のどちらかを選択していただけます。別々に登録することはできません。
- なりわけサービス/擬似なりわけは通常の着信音とは違うため、電話機、FAX機、モデム等で正常に着信が行なえないものが有ります。モデム、FAX等で着信する場合はその相手の電話番号は登録しない方がよいでしょう。呼出音が鳴らないものもあります。その際は1-7ページを参照してRing信号の周波数を変えてください。

## なりわけ機能の設定

なりわけ機能を利用する場合は、以下の設定が必要になります。

- **なりわけの設定**（詳しくは最寄りのNTT窓口までお問い合わせください）  
アナログポートに接続された電話機からNTTに電話をかけ、ダイヤル操作で設定します。  
この製品はスティミラスプロトコル手順に対応しています。
- **発信者番号通知の設定**（ダイヤルインや代表取扱サービス契約をしているときのみ）  
この製品の発信者番号通知の設定を「通知する」に設定します。（5-32ページ参照）  
NTTとの契約が「常時通知拒否」の場合は、契約を「通話ごと非通知」または「回線ごと非通知」に変更してください。
- **ダイヤルインの設定**（ダイヤルイン契約をしているときのみ）  
この製品に自己アドレスを設定します。（5-6ページ参照）

相手が発信者番号通知をしている場合のみ使用できます。

この製品にはNTTのINSなりわけ機能の契約なしで、ほぼ同様の機能が実現できる「疑似なりわけ機能」（5-34ページ参照）を使用することもできます。  
ただし、アナログ回線からの着信でご利用したい場合は、INSナンバーディスプレイの契約が必要です。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付録

### 疑似なりわけ機能について

疑似なりわけ機能を使用すると、NTTと契約なしでINSなりわけサービスとほぼ同様のサービスを行えます。

この製品の共通電話帳やプライベート電話帳に登録されている電話番号の相手から電話がかかってきた時に通常と異なる呼出音で電話機等を鳴らすことができます。

**相手が発信者番号通知をしている場合のみ使用できます。**

疑似なりわけ機能を設定するアナログポートに接続された電話機の手話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。手話器を置いてください。

✳ ✳ 0 8 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

㊦：通常着信、㊧：疑似なりわけ

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

# ボイスワープ機能

## NTTボイスワープ機能

NTTのINSボイスワープ機能を利用すると、この製品のアナログポートに接続されている電話機が応答しないときに、かかってきた電話を任意の電話番号に転送できます。



ボイスワープと着信転送は異なる機能です。着信転送は、この製品で転送元/転送先等を設定します。ボイスワープの場合、設定はNTTへ行かないです。また、ボイスワープセレクトでは相手の番号によって転送するかしないかを設定できます。

### INSボイスワープ機能の特徴

- 転送条件は無条件、話中、応答しない場合のいずれかから選択できます。
- 電話機やPBXが故障中、ないし電源を切った状態でも転送できます。
- 転送先は最大5箇所まで登録でき、変更も自由にできます。
- 外出先の電話から転送先の選択や、転送の開始/停止の切替ができます。

## ボイスワープセレクト機能

NTTのINSボイスワープの機能に加え、特定の相手からかかってきた電話のみを任意の電話番号に転送させることができる発信者選択型のサービスです。

### ボイスワープセレクト機能の特徴（INSボイスワープ機能に付加された）

- 登録してある相手から電話があった場合に電話を転送する
- 登録してある相手からの電話のみを転送元に着信させ、それ以外は全て転送する
- 登録・未登録に関わらず全ての電話を転送する

## ボイスワープ機能の設定

ボイスワープ機能を利用するためには、以下の設定が必要になります。

- **ボイスワープの設定**（詳しくは最寄りのNTT窓口までお問い合わせください）  
アナログポートに接続された電話機からNTTに電話をかけ、ダイヤル操作で設定します。この製品はスティミラスプロトコル手順に対応しています。
- **発信者番号通知の設定**（ダイヤルイン契約や代表取扱サービス契約をしているときのみ）  
この製品の発信者番号通知の設定を「通知する」に設定します。（5-32ページ参照）NTTとの契約が「常時通知拒否」の場合は、契約を「通話ごと非通知」または「回線ごと非通知」に変更してください。
- **ダイヤルインの設定**（ダイヤルイン契約をしているときのみ）  
この製品に自己アドレスを設定します。（5-8ページ参照）

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アナログポートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

# プライベート着信機能

プライベート着信機能とは、プライベート電話帳に登録しておいた相手から電話がかかってきたとき、設定以外のTELポートには着信させない機能です。

なお、着信機能の優先順位は「プライベート着信＞優先着信＞識別着信」の順で、グローバル着信、サブアドレスの設定よりもプライベート着信が再優先となります。

● この機能を使うにはまずプライベート電話帳に番号を登録することが必要です。  
(3-4ページ参照)

- プライベート着信するポートが使用中の場合は着信しません。
- 着信時はなりわけ着信と同様の呼び出し音が鳴ります。
- プライベート電話帳に登録している相手から電話がかかってきたときは、呼出音が「使用しない」以外に設定されていても、TAから呼出音は鳴りません。  
また、着信履歴にも相手の情報（電話番号）は残りません。
- アナログ回線からの着信でご利用したい場合は、INSナンバーディスプレイの契約が必要です。

**相手が発信者番号通知をしている場合のみ使用できます。**

プライベート着信機能を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

✳ ✳ 1 1 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

☐：使用しない、①：使用する

※プライベート着信時は、呼出音機能が無効です。

# プライベート着信転送機能

プライベート着信転送は、プライベート電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたとき、指定した転送先へその電話を転送します。

## プライベート着信転送の設定

プライベート着信転送機能を利用する場合は、以下の方法で設定します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ ※ 1 2 番号※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

⑨：転送しない、①：転送する

続いて、以下の「転送先番号の設定」を行ってください。

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

## 転送先番号の設定

プライベート着信転送機能で転送先番号を設定する場合は、以下の方法で設定します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ ※ 6 2 転送先番号 # #

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アドバンス機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録



# 識別着信機能

共通・プライベート電話帳に登録しておいた電話番号の相手から電話がかかってきた時のみ電話機の呼出音を鳴らすことができます。



拒否

特定の相手のみ着信したい時に有効です。



拒否



許可

**相手が発信者番号通知をしている  
場合のみ使用できます。**

- アナログ回線からの着信で利用したい場合は、INSナンバーディスプレイの契約が必要です。

識別着信機能を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

**\* \* 0 8 番号※1 # #**

- ※1：①：通常着信、②：識別着信1（共通・プライベート電話帳）、  
③：識別着信2（共通・プライベート電話帳+INSなりわけ）

- 上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

# 優先着信機能

優先着信機能を使うと、決まったTELポートに優先して着信することができます。  
なお、着信機能の優先順位は「プライベート着信＞優先着信＞識別着信」の順です。

優先着信機能を設定するアナログポートに接続された電話機の受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

|  |   |   |   |   |      |   |   |
|--|---|---|---|---|------|---|---|
|  | ＊ | ＊ | 7 | 3 | 番号※1 | # | # |
|--|---|---|---|---|------|---|---|

※1： ①：使用しない  
②：TEL1優先  
③：TEL2優先

●上記以外に、付属の「かんたん設定ユーティリティ」からも設定できます。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

# 最適通信速度自動選択（BOD機能）

128Kbps（MP/BACP）でデータ通信時は、回線を完全に占有してしまうので、アナログポートに接続されたアナログ通信機器は使用できなくなりますが、最適通信速度自動選択（BOD機能）を利用すると、回線の使用状況に応じて通信速度を自動的に切り換えます。「かんたん設定ユーティリティ」からのみ設定できます。

リソースBOD.....128K通信中に通信速度を64Kbpsに落として2回線の内の1回線を開放することにより、アナログポートの発着信可能

**最適通信速度自動選択（BOD機能）を利用する場合は、NTTと通信中着信通知サービス契約（無料）を結んでください。詳しくは、最寄りのNTTまでお問い合わせください。**

スループットBOD....データの通信量に応じて自動的に通信速度を64Kと128Kを切替（通信料金を節約）

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドヴァンスト  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

## 6 リモート設定

この章では、外出先から電話回線を利用して設定の変更を行うための操作方法を説明します。

# リモートコントロール機能

外部から、TS128NSに電話をかけて、遠隔操作で着信転送などの設定を行うことができます。

## リモートコントロール機能について

リモートコントロール機能では、TS128NSに電話をかけて、リモートコントロールモードに入り、電話機のトーン信号により設定を行うことができます。

- リモートコントロール機能で、設定可能な項目は着信転送機能とリモートコントロール機能のみです。（アナログ電話機コマンドの、※※③～、※※④～、※※⑨⑨#＃の項目のみです。）その他の項目は、設定できませんので注意してください。

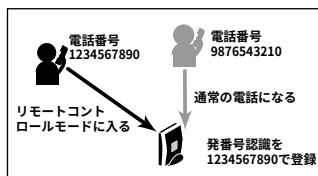
リモートコントロールモードの設定は、以下の2つの方法があり、同時に複数の設定をしておくことができます。

### 発信者番号リモートコントロール

発信者の電話番号を登録しておき（最大3件）、その電話番号で電話がかかってきた時に、リモートコントロールモードになります。

電話をかける時には、発信者番号通知をする必要があります。

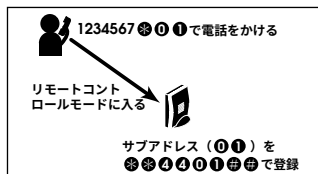
また、アナログ回線からの着信でご利用の場合は、INSナンバーディスプレイの契約が必要です。



### サブアドレスリモートコントロール

リモートコントロールに入るためのサブアドレス番号を登録しておき、その番号で電話がかかってきた時に、リモートコントロールモードに入ります。

サブアドレスは、PHS、ISDN電話やISDN公衆電話など、サブアドレス機能に対応した電話機から電話をかける必要があります。



# リモートコントロール

リモートコントロールの操作方法を説明します。

- リモートコントロールを行うには、あらかじめ、任意のリモートコントロールモードの登録と設定が済んでいる必要があります。

## 1 外出先から電話をかけます。

発信者番号リモートの場合                   ： 発信者番号を通知して発信  
サブアドレスリモートの場合               ： サブアドレスを付けて発信

## 2 この製品が着信すると「リモートモード」と音声ガイダンスが流れます。

## 3 設定したいコマンドをプッシュボタンから入力します。

(アナログ電話機コマンドの、☒☒3～、☒☒4～、☒☒99#☒☒の項目のみ設定できます。)

設定入力後、設定内容を音声アナウンスします。

## 4 受話器を置きます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログ電話機の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

# 発信者番号リモートコントロール

外出先（発信者番号に登録してある相手）から電話をかけて、着信転送の設定やリモートコントロールの設定を変更します。

## 発信者番号の登録

発信者番号リモートコントロールを使用するには、発信者番号を登録する必要があります。以下の方法で登録してください。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。  
入力が完了したら、受話器を置いてください。

✖ ✖ 4 3 エリア番号 ※1 発信者番号 ※2 # #

※1：発信者番号を登録できるエリアは、以下の3つがあります。

②：エリア1の場合、①：エリア2の場合、②：エリア3の場合

※2：発信者番号は、リモートコントロールしたい外出先の電話番号を入力します。  
市外局番から入力してください。携帯電話やPHSの番号も入力できます。（12桁まで入力可能）

## 発信者番号リモートコントロールの設定

発信者番号リモートコントロールの許可/禁止を、以下の方法で設定します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

✖ ✖ 4 0 番号 ※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

②：発信者番号リモートコントロールを禁止する場合

①：発信者番号リモートコントロールを許可する場合

# サブアドレスリモートコントロール

外出先からサブアドレス機能付きの電話で電話をかけて、着信転送の設定やリモートコントロールの設定を変更します。

## サブアドレス番号の登録

サブアドレスリモートコントロールを使用するには、サブアドレス番号を登録する必要があります。以下の方法でサブアドレス番号を登録してください。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ ※ 4 2 サブアドレス番号 ※1 # #

※1：サブアドレス番号は、リモートコントロールモードに入る様にしたいサブアドレス番号を入力します。

## サブアドレスリモートコントロールの設定

サブアドレスリモートコントロールの許可/禁止を、以下の方法で設定します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。この製品から「ピー」という音がしたら設定完了です。受話器を置いてください。

※ ※ 4 1 番号 ※1 # #

※1：以下のいずれかの番号を入力します。

②：サブアドレスリモートコントロールを禁止する場合

①：サブアドレスリモートコントロールを許可する場合

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドバンス  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録





# 7 パソコンの接続・設定

この章では、Windows95/98／Macintoshパソコンとこの製品の接続と設定を説明します。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドバンス  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

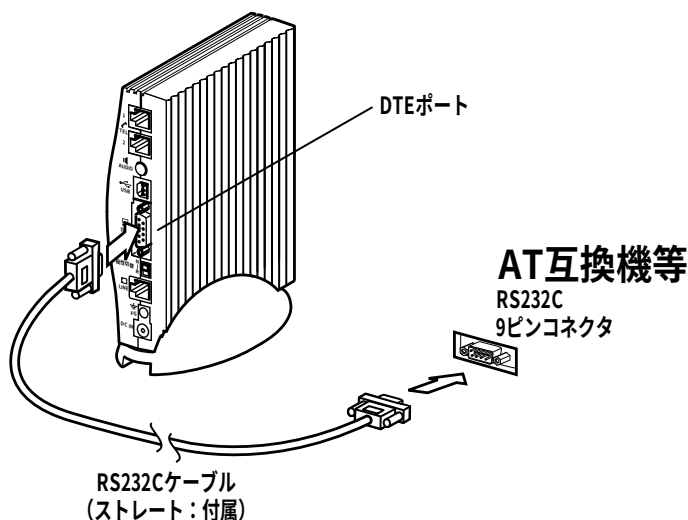
付 録

# パソコンとの接続

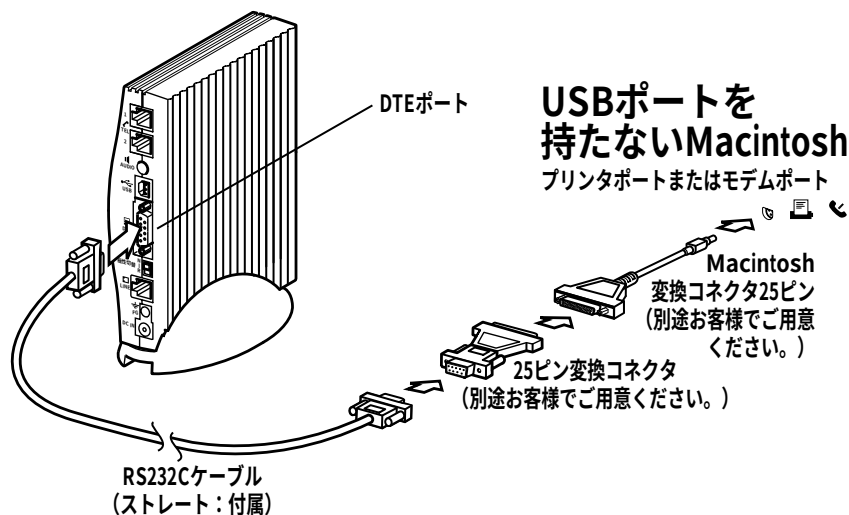
この製品をパソコン（その他のデータ端末）に接続します。以下の注意をよく読んで正しく接続してください。

- この製品の取り付け、取り外しを行う際は、必ずこの製品およびパソコン本体、周辺機器の電源をOFFにして行ってください。故障や誤動作の原因となる可能性があります。
- 付属以外のRS232Cケーブルをご使用になる場合は、ストレートタイプをお使いください。クロスタイプのケーブルを接続した場合は、通信できません。
- RS232Cケーブルは、両側のネジを廻してDTEポートにしっかりと固定してください。取付方が不十分だと、コネクタが外れて通信できなくなる場合があります。
- DTEポートとUSBポートは同時に使用する事ができません。

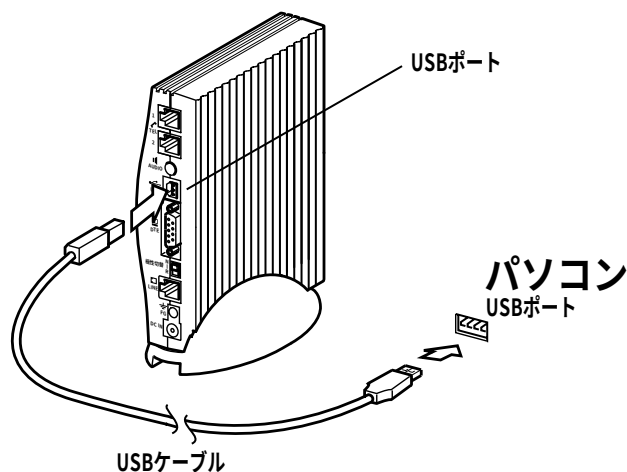
## AT互換機等のパソコンとの接続



## USBポートを持たないMacintoshとの接続



## USBポートを持つパソコンとの接続



1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アログ  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付録

# Windows 9 5/9 8 編

## USBでパソコンと接続する

同じパソコンにTS128NSを2台以上USBで接続することはできません。  
ご注意ください。

## Windows 9 8 への 組 込 み

本製品をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い本製品とパソコンの接続を行いますので、この時点では本製品とパソコンを接続しないでください。

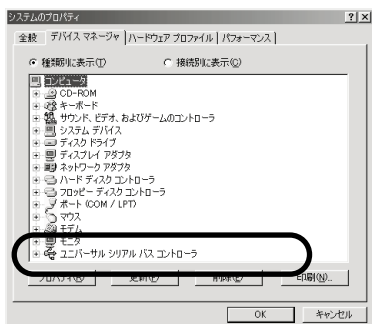
- パソコンのOSがWindows 9 8である事
- USBドライバのインストール確認
- USBドライバとモデム設定ファイルを組込む
- 接続の確認

## USBドライバのインストール確認

以下の手順に従い、ご使用のパソコンにUSBドライバが正しくインストールされていることを確認してください。画面はシステムにより異なる場合があります。

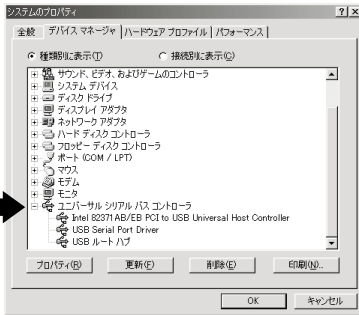
- 1 パソコンの電源をONにし「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。
- 2 コントロールパネル内の「システム」アイコンをダブルクリックして、その中の「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

3



「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のアイコンが表示されます。

4



5

「OK」をクリックしてください。

矢印の部分をクリックすると、図のような表示に変わります。「USBルートハブ」と「XXXX XXXX Host Controller」が表示されていれば確認完了です。

無い場合は、パソコンメーカーまたはUSBボードメーカーにお問い合わせください。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アログ  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

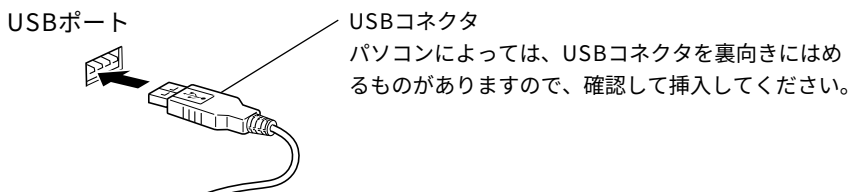
付 録

## USBドライバとモデム設定ファイルを組込む

付属の「Windows&Macintosh添付ソフトウェア」CD-ROMを使って、USBドライバとモデム設定ファイルをパソコンに組み込み、TS128NSを認識させる必要があります。

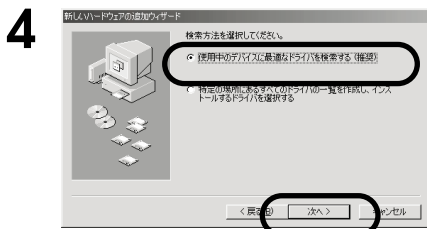
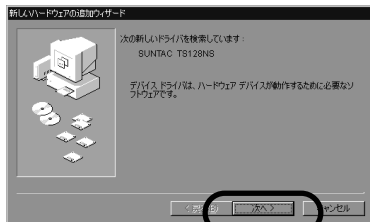
**1** 本製品に付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入してください。

**2** TS128NSを下図を参照してパソコンに接続してください。



接続を行うと自動的にUSBドライバのインストールが開始されます。

**3** 「新しいハードウェア」画面が表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)」をチェックし、「次へ」をクリックしてください。

5



付属のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認して、「CD-ROMドライブ」と「検索場所の指定」をチェックし、D:\（ここでは、パソコンのCD-ROMドライブをDとしています。）と入力した後、「次へ」をクリックしてください。

※ご使用のパソコンのCD-ROMのドライブが分からない場合は、A-4ページ「ドライブ名を調べる」を参照してください。

6



「次のデバイス用のドライバファイルを検索します：」というメッセージのダイアログが開きますので、「次へ」をクリックします。

7



「完了」をクリックしてください。

8

引き続き自動的にモデム設定ファイルのインストールが行われます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アログゲートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録



## 接続の確認

接続したTS128NSが正常に動作するかどうかを確認します。

- 1 「スタート」メニューの中の「設定」から「コントロールパネル」をクリックしてください。

- 2  コントロールパネル内の「システム」アイコンをダブルクリックして、その中の「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

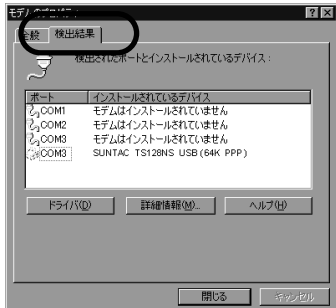
- 3 「ポート (COM / LPT)」の下に「NS port (COM3)」(システムによっては、COMの番号が変わります) と、「モデム」の下に「SUNTAC TS128NS USB(64K PPP)」が表示されていればインストールは完了しています。

※表示されていない場合は再インストールしてください。

- 4 「OK」をクリックしてください。

- 5 次に「コントロールパネル」の中の「モデム」をダブルクリックします。

- 6  「モデムのプロパティ」の「検出結果」タブをクリックしてください。



7



SUNTAC TS128NSが表示されているポートのアイコンをクリックし、「詳細情報」をクリックしてください。しばらくして「詳細情報」ダイアログが開きます。

8

「詳細情報」にSUNTAC TS128NS USB(64K PPP)を確認できたら、接続確認は完了です。

※ERRORが返るコマンドがありますが、異常ではありません。

9

「OK」をクリックしてください。

10

他の通信モードを設定したい場合は、次項をお読みください。

※インターネットの接続については、TS128NSユーザズマニュアル通信編（電子マニュアル（CD-ROM））を参照してください。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

フロッピーディスクの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

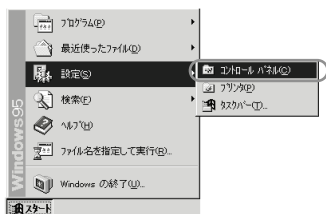
## RS232Cでパソコンと接続する

## 通信モードの追加・登録

RS232Cでパソコンと接続する場合は、以下の手順でインストールを行う必要があります。また、USBのインストール後に他の通信モードを設定する場合も以下の手順を行う必要があります。

- 1 設定を行う前に、この製品の電源を入れてください。何か通信ソフト（データ通信やFAXソフトなど）が起動していればいったん終了させてください。

2



「スタートボタン」-「設定」-「コントロールパネル」を選択してください。

コントロールパネルが開きます。

3



「モデム」アイコンをダブルクリックしてください。

「モデムのプロパティ」画面が開きます。

※モデムウィザードが起動した場合は、次ページの5に進んでください。

4



「追加」ボタンをクリックしてください。

5



モデムウィザードが起動します。(この画面が表示されない場合があります。その場合は6に進んでください。)

「ハードウェアウィザードを実行しない」をチェックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。

6



「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。

選択モデム一覧ウィンドウが開きます。

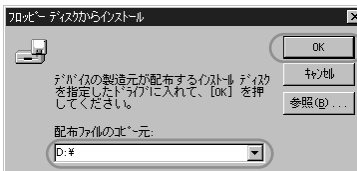
7



「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

「フロッピーディスクからインストール」画面が開きます。

8



「Windows & Macintosh 添付ソフトウェア」CD-ROMをパソコンのドライブに入れてください。

「配布ファイルのコピー元」入力ボックスには、CD-ROMを挿入したドライブ名をキーボードから入力してください。

(例：D：\ )

※ ドライブは、パソコンによって異なります。

ご使用のパソコンのCD-ROMのドライブが分からない場合は、A-4ページ「ドライブ名を調べる」を参照してください。

9

「配布ファイルのコピー元」入力ボックスに、「Windows & Macintosh 添付ソフトウェア」CD-ROMを挿入したドライブ名が表示されていれば、「OK」ボタンをクリックしてください。

1

ご使用になる前

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アドバンスの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

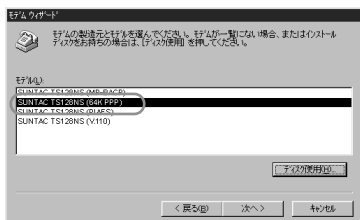
10

電子マニュアルについて

A

付録

10



「モデル」一覧の中から使用する通信モードを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

使用する通信モードに応じて、下表のメニューを選択します。

| 通信モード          | RS232Cの場合               | USBの場合                      |
|----------------|-------------------------|-----------------------------|
| 128KbpsMP/BACP | SUNTAC TS128NS(MP-BACP) | SUNTAC TS128NS USB(MP-BACP) |
| 64Kbps PPP     | SUNTAC TS128NS(64K PPP) | SUNTAC TS128NS USB(64K PPP) |
| 非同期            | SUNTAC TS128NS(V.110)   | SUNTAC TS128NS USB(V.110)   |
| PIAFS          | SUNTAC TS128NS(PIAFS)   | SUNTAC TS128NS USB(PIAFS)   |

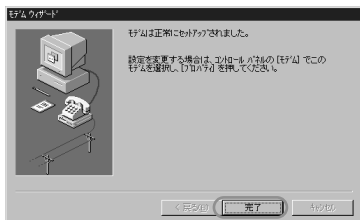
11



「選択されたモデム」にSUNTAC TS128NSが表示されます。「モデムを接続するポート」メニューの中からこの製品を接続したポートを選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。

※ここで「ダイヤルのプロパティ」画面が開く場合があります。所在地情報を設定してください。

12



「モデムは正常にセットアップされました」というメッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。

13



「閉じる」ボタンをクリックします。

以上でこの製品がWindows95/98に組み込まれました。

複数の通信モードを使用したい場合は、いったん手順10でいずれかの通信モードを選択して12まで手順を終了させ、再度1からやり直してください。その際、7の「製造元」で「サン電子」を選択し、使用する通信モードを選択してください。(CD-ROMは使用しません。)

※インターネットの接続については、TS128NSユーザズマニュアル通信編（電子マニュアル（CD-ROM））を参照してください。

## USBでMacintoshと接続する

同じパソコンにTS128NSを2台以上USBで接続することはできません。  
ご注意ください。

## Macintoshへの組み込み

本製品をご使用のパソコンで使用可能にするためには、以下の設定および確認を行う必要があります。マニュアルに従い本製品とパソコンの接続を行いますので、この時点では本製品とパソコンを接続しないでください。

- Mac OS 8.1以上である事
- USBドライバを組み込む
- 接続の確認



### Mac OS 8.1でiMacをお使いの場合

iMacアップデータ1.0が、アップルコンピュータ株式会社のホームページで公開されています。iMacアップデータ1.0では、USBソフトウェアの改良が行われており、USB周辺機器の操作が向上しています。

この製品のインストールはアップデータを行った後で行ってください。詳しくは、下記のホームページをご覧になるかアップルコンピュータ株式会社へお問い合わせください。

[http://ftp-info.apple.co.jp/reference/imac\\_update-J10.html](http://ftp-info.apple.co.jp/reference/imac_update-J10.html)

※Mac OS 8.5以降をお使いの方は、アップデートする必要はありません。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドヴァン  
ス機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付録

## USBドライバを組込む

USBドライバを以下の手順で組込んでください。

- 1 付属の「Windows&Macintosh添付ソフトウェアCD-ROM」の内の「USBドライバ」フォルダの中にある「SerialShimLib」と「USBTS128NS」の2つのファイルを「システム」フォルダの「機能拡張」フォルダへコピーします。



MacOS 8.6以降は標準で「SerialShimLib」をサポートしていますので、CD-ROMからコピーする必要はありません。



- 2 再起動します。これで、USBドライバの組込みは完了です。



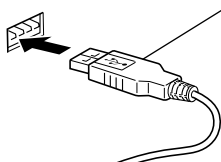
USBドライバをアンインストールする時は、「機能拡張」フォルダ内の「SerialShimLib」と「USBTS128NS」をごみ箱に移動してください。ただし、MacOS 8.6以降の場合は、「USBTS128NS」のみをごみ箱に移動してください。

## 接続の確認

TS128NSを接続して正常に動作するか確認します。

# 1 TS128NSをパソコンに接続してください。

USBポート



USBコネクタ

パソコンによっては、USBコネクタを裏向きにはめるものがありますので、確認して挿入してください。

## 2

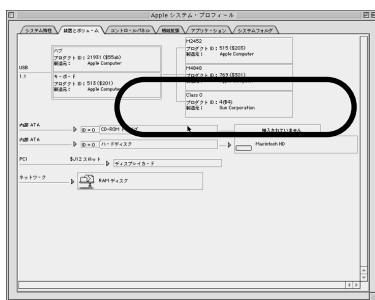


「アップルメニュー」の「Apple システムプロフィール」を選択します。

## 3

「Apple システムプロフィール」ダイアログボックス内の「装置とボリューム」タブをクリックします。

## 4



画面に以下のように表示されていれば接続は正しく行われています。(Mac OSのバージョンにより表示のされ方が多少違います。)

プロダクトID：4又は4(\$4)

製造元：Sun Corporation

プロダクトIDと製造元が上のように表示されているものがない場合は、ドライバの組込みからやり直してください。

※インターネットの接続については、TS128NSユーザーズマニュアル通信編（電子マニュアル（CD-ROM））を参照してください。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アログボードの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録



### RS232CでMacintoshと接続する

本製品をご使用のパソコンで使用可能にするためには、マニュアルに従い本製品とパソコンの接続を行ってください。（7-3ページ）

※インターネットの接続については、TS128NSユーザーズマニュアル通信編（電子マニュアル（CD-ROM））を参照してください。

## 8 トラブル対処法

通信できない、あるいはターミナルアダプタが正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、以下の手順で確認を行ってください。トラブルのほとんどは、簡単な確認を行うことによって、解決できるはずです。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドバンス  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

# アナログ電話機編

アナログポートに接続されている機器がうまく使用できない場合は、以下の確認を順番に行ってみてください。

## 1 この製品の電源を入れます。

PWランプが赤色に点滅または点灯します。

### ? うまくいかないときは…

#### PWランプが点灯または点滅しない場合

- 本体にACアダプタのジャックが挿さっていることを確認してください。
- ACアダプタがコンセントに挿さっていることを確認してください。

#### PWランプが点滅する場合

- LINEにISDN回線が接続されていることを確認してください。
- ACアダプタを抜いて極性反転スイッチを切り替え、その後、ACアダプタをコンセントに挿してください。

## 2 アナログポートに接続されている電話機やFAXで通信してみます。

### ? うまくいかないときは…

#### アナログポートに接続した電話機から発信できない

- 電話機の手受器を上げたときに「ツー」という音は聞こえますか？  
話中の音になっている場合、他のアナログポートやデータ通信を使用しています。  
他のポートの使用状況を確認してください。  
無音の場合、配線が間違っていたり、モジュラーケーブルの不良が考えられます。  
配線など確認してください。
- 電話機のダイヤル方式はトーン方式になっていますか？  
パルス式(パルス発信)の設定になっていると発信ができません。  
トーン式の設定に切り替えてください。

#### アナログポートに接続した電話機で通話できない

- 2-8ページを参照して、使用しているポートモードが「電話機」であることを確認してください。

#### アナログポートに接続したFAXで通信できない

- 2-9ページを参照して、使用しているポートモードが「FAX」であることを確認してください。
- FAX電話機の場合は「電話機」に設定してください。ただし、FAXする相手がG4 FAXの場合は、「FAX」にして通信を行う必要があります。(2-9ページ参照)

## アナログポートに接続したモデムで通信できない

- 2-8ページを参照して、使用しているポートモードが「モデム」であることを確認してください。
- モデムから発信できない場合は、通信ソフトの初期化コマンドでトーン信号を無視するコマンド（ATX3等）を追加してください。  
モデムのコマンドについては、モデムのユーザズマニュアル等を参照してください。

## 3 他の電話から、この製品のアナログポートに接続されている電話機に電話をかけてみます。（電話機が2台つながっている場合は、3-2ページを参照して内線通話できます）

### ? うまくいかないときは…

## アナログポートに接続した電話機に電話をかけると応答しない場合

- 5-7ページの説明を参照してグローバル着信機能が「着信する」になっていることを確認してください。「着信しない」になっている場合は、接続したアナログポートのダイヤルイン番号（i・ナンバー（追加番号））ないしサブアドレス宛にダイヤルするか、グローバル着信機能を「着信する」にしてください。
- 2-8ページを参照して、ご使用のアナログポートのポートモードを適切な通信モードの設定にしてください。
- この製品のRing信号の設定を変更してみてください。（1-7ページ参照）
- アナログポートにつないだ電話機の設定で着信感度（CIやRI等という表現の場合もあります）という設定がある場合、「H」（高感度）に設定してみてください。
- アナログポートにつないだ電話機の着信音量の設定が切る(off)になっていないことを確認してください。

## 話中なのに話中にならない場合

- 2-9ページを参照して、機器が接続されていないアナログポートがある場合、ポートモードを「OFF」に設定されていることを確認してください。接続されていないポートが「OFF」以外に設定されていると、他のポートが話し中で着信があった場合、話し中になりません。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アナログポート  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付録

## 4 その他

### ? うまくいかないときは…

#### 保留できない場合

- 5-15ページを参照してキャッチホン（コールウェイティング）機能を使用する設定にしてください。
- キャッチホン（コールウェイティング）機能を使用するためには、NTTと契約が必要です。契約していない場合は、疑似キャッチホン（コールウェイティング）機能で同様の操作をおこなうことができます。（5-18ページ参照）
- 2-8ページを参照して、ポートモードを「電話機」に設定してください。

#### ナンバーディスプレイ対応の機器を接続している場合、着信時相手のナンバーを表示しない。

- ナンバーディスプレイ対応の機器によっては対応できない場合があります。
- NTTの契約によっては相手からの番号通知が受けられない場合があります。契約を確認してください。
- ナンバーディスプレイを「ON」に設定したアナログポートにつないでいるか確認してください。
- ナンバーディスプレイ対応の機器の設定がディスプレイ表示をする設定になっているか確認してください。機器の説明書を確認してください。

#### 着信履歴／発信履歴が記録されない

- 日付、時間の設定をしてください。（1-6ページ参照）

# スーパーリセット

設定を行っているうちにこの製品の設定がどうなっているのかよく分からなくなった場合は、スーパーリセットをして出荷時の設定にしてもう一度設定をやり直してください。

様々な設定を行っているうちに、操作やコマンドの設定を間違えている場合があります。

スーパーリセットは、以下の方法で行うことができます。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

※ ※ 2 0 # #

●上記以外に付属のかんたん設定ユーティリティからも設定できます。

※電話帳とACRデータは、クリアされません。

## アナログポートの初期化

操作したアナログポートの設定を初期化します。

受話器を上げて、プッシュボタンから以下のように入力してください。

※ ※ 2 2 # #

※プライベート電話帳はクリアされません。

1  
ご使用に  
なる前に

2  
設置方法

3  
基本操作

4  
スーパー  
ACR

5  
アナログポート  
の機能

6  
リモート  
設定

7  
パソコンの  
接続・設定

8  
トラブル  
対処法

9  
リファレンス

10  
電子マニュアル  
について

A  
付 録



# 9 リファレンス

この章では、この製品のアナログ電話機コマンド一覧を参照できるようになっています。  
この製品の機能を一覧で参照したい方は、ここをご覧ください。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドバンス  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録



# アナログ電話機コマンド一覧表

## 設定コマンド

| 操 作                 | コマンド        | 内 容                  | 参照    |
|---------------------|-------------|----------------------|-------|
| ★ アナログポートモード選択      | (*)*(*)000# | アナログ電話機を接続           | P2-8  |
|                     | (*)*(*)001# | モデムを接続               | P2-8  |
|                     | (*)*(*)002# | FAXを接続               | P2-9  |
|                     | (*)*(*)003# | 使用しない                | P2-9  |
| ★ ダイヤル番号グローバル着信     | (*)*(*)010# | 着信しない                | P5-8  |
|                     | (*)*(*)011# | 着信する                 | P5-8  |
| ★ サブアドレスグローバル着信     | (*)*(*)020# | 着信しない                | P5-10 |
|                     | (*)*(*)021# | 着信する                 | P5-10 |
| ★ 発信者番号通知           | (*)*(*)030# | 通知しない                | P5-32 |
|                     | (*)*(*)031# | 通知する                 | P5-32 |
|                     | (*)*(*)032# | INSネット64の契約通り通知      | P5-32 |
| ★ キャッチホン（コールウェイトング） | (*)*(*)040# | 使用しない                | P5-15 |
|                     | (*)*(*)041# | NTTキャッチホン(コールウェイトング) | P5-15 |
|                     | (*)*(*)042# | 疑似キャッチホン(コールウェイトング)  | P5-18 |
| ★ 三者通話              | (*)*(*)050# | 使用しない                | P5-20 |
|                     | (*)*(*)051# | NTT三者通話使用            | P5-20 |
|                     | (*)*(*)052# | 疑似三者通話のみ使用           | P5-21 |
|                     | (*)*(*)053# | 疑似三者通話優先使用           | P5-21 |
| ★ 通信中転送             | (*)*(*)060# | 使用しない                | P5-23 |
|                     | (*)*(*)061# | 使用する                 | P5-23 |
| ★ 内線転送              | (*)*(*)070# | 使用しない                | P5-31 |
|                     | (*)*(*)071# | 使用する                 | P5-31 |
| ★ 識別、疑似なりわけ         | (*)*(*)080# | 通常着信                 | P5-34 |
|                     | (*)*(*)081# | 疑似なりわけ               | P5-34 |
|                     | (*)*(*)082# | 識別着信1（電話帳）           | P5-38 |
|                     | (*)*(*)083# | 識別着信2（電話帳＋INSなりわけ）   | P5-38 |
| ★ 極性反転              | (*)*(*)090# | 使用しない                |       |
|                     | (*)*(*)091# | 使用する                 |       |
| ★ ナンバーディスプレイ        | (*)*(*)100# | 利用しない                | P2-10 |
|                     | (*)*(*)101# | 利用する                 | P2-10 |
| ★ プライベート着信          | (*)*(*)110# | 使用しない                | P5-36 |
|                     | (*)*(*)111# | 使用する                 | P5-36 |
| ★ プライベート着信転送        | (*)*(*)120# | 転送しない                | P5-37 |
|                     | (*)*(*)121# | 転送する                 | P5-37 |

| 操 作                         | コマンド                                                                     | 内 容                                                | 参照    |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-------|
| ★ 受話音量                      | (*) (*) 1 3 1 # #                                                        | 小さい                                                |       |
|                             | (*) (*) 1 3 2 # #                                                        | やや小さい                                              |       |
|                             | (*) (*) 1 3 3 # #                                                        | 標準 (初期値)                                           |       |
|                             | (*) (*) 1 3 4 # #                                                        | やや大きい                                              |       |
|                             | (*) (*) 1 3 5 # #                                                        | 大きい                                                |       |
| ★ 疑似フレッホンの保留音               | (*) (*) 1 4 0 # #                                                        | 保留音なし                                              | P5-29 |
|                             | (*) (*) 1 4 1 # #                                                        | 保留音あり [Sicillienne]                                | P5-29 |
|                             | (*) (*) 1 4 2 # #                                                        | 保留音あり [Inventio IV]                                | P5-29 |
|                             | (*) (*) 1 4 3 # #                                                        | 保留音あり [Fur Elise]                                  | P5-29 |
| 呼出音の設定                      | (*) (*) 1 5 nn # #<br>nn : 00~16<br>00 : 呼出音無し<br>01~15 : 呼出音<br>16 : 音声 | 電話の着信があったときにT A本体から流れる呼出音を設定。##を押した後着信音を受話器から1回流す。 | P4-14 |
| スーパ ーリセット                   | (*) (*) 2 0 # #                                                          | 不揮発性メモリを工場出荷時に設定                                   | P8-5  |
| アナログポ ートの初期化                | (*) (*) 2 2 # #                                                          | 入力したポ ートを初期化 (AT&Aコマンドのパラメータ)                      | P8-5  |
| ★ 着信転送<br>(リモート設定可能)        | (*) (*) 3 0 0 # #                                                        | 着信転送使用しない                                          | P5-25 |
|                             | (*) (*) 3 0 1 # #                                                        | NTT着信転送                                            | P5-25 |
|                             | (*) (*) 3 0 2 # #                                                        | 疑似着信転送 (全番号転送)                                     | P5-25 |
|                             | (*) (*) 3 0 3 # #                                                        | 疑似着信転送 (登録番号転送)                                    | P5-25 |
|                             | (*) (*) 3 0 4 # #                                                        | 疑似着信転送 (登録番号着信)                                    | P5-25 |
| ★ 着信転送番号の登録<br>(リモート設定可能)   | (*) (*) 3 1 0 [転送元番号] (*)<br>[転送先番号] ##                                  | 契約者回線番号の転送設定                                       | P5-25 |
|                             | (*) (*) 3 1 1 [転送元番号] (*)<br>[転送先番号] ##                                  | ダイヤルイン1の転送設定                                       | P5-25 |
|                             | (*) (*) 3 1 2 [転送元番号] (*)<br>[転送先番号] ##                                  | ダイヤルイン2の転送設定                                       | P5-25 |
|                             |                                                                          |                                                    |       |
| ★ 着信転送トキの設定<br>(リモート設定可能)   | (*) (*) 3 2 0 # #                                                        | 転送トキあり / 転送元トキあり                                   | P5-26 |
|                             | (*) (*) 3 2 1 # #                                                        | 転送トキあり / 転送元トキなし                                   | P5-26 |
|                             | (*) (*) 3 2 2 # #                                                        | 転送トキなし / 転送元トキあり                                   | P5-26 |
|                             | (*) (*) 3 2 3 # #                                                        | 転送トキなし / 転送元トキなし                                   | P5-26 |
| ★ 着信転送 呼び出し回数<br>(リモート設定可能) | (*) (*) 3 3 n # #<br>n : 0~9                                             | 呼び出し回数                                             | P5-25 |

- 1  
ご使用になる前に
- 2  
設置方法
- 3  
基本操作
- 4  
スーパーACR
- 5  
アナログポ ートの機能
- 6  
リモート設定
- 7  
パソコンの接続・設定
- 8  
トラブル対処法
- 9  
リファレンス
- 10  
電子マニュアルについて
- A  
付 録

# アナログ電話機コマンド一覧表

| 操 作                                  | コマンド               | 内 容                                  | 参照    |
|--------------------------------------|--------------------|--------------------------------------|-------|
| ★ 着信転送時の<br>発信者番号通知の設定<br>(リモート設定可能) | ※※340#             | 通知しない                                | P5-27 |
|                                      | ※※341#             | 通知する                                 | P5-27 |
|                                      | ※※342#             | INSネット64契約通り通知                       | P5-27 |
| ★ リモートコントロール機能の設定<br>(リモート設定可能)      | ※※400#             | 発信者番号リモート OFF                        | P6-4  |
|                                      | ※※401#             | 発信者番号リモート ON                         | P6-4  |
|                                      | ※※410#             | サブアドレスリモート OFF                       | P6-5  |
| ★                                    | ※※411#             | サブアドレスリモート ON                        | P6-5  |
|                                      | ※※42 [サブアドレス] ##   | サブアドレス番号指定                           | P6-5  |
|                                      | ※※430 [発信者番号] ##   | 発信者番号エリア1                            | P6-4  |
| ★                                    | ※※431 [発信者番号] ##   | 発信者番号エリア2                            | P6-4  |
|                                      | ※※432 [発信者番号] ##   | 発信者番号エリア3                            | P6-4  |
| ★ ACR稼働設定                            | ※※500#             | ACR機能を「切」                            | P4-9  |
|                                      | ※※501#             | ACR機能を「入」                            | P4-9  |
| ★ デジタル稼働設定                           | ※※510#             | データ通信のACR機能を「切」                      | P4-12 |
|                                      | ※※511#             | データ通信のACR機能を「入」                      | P4-12 |
| ★ ACRダウロード設定                         | ※※520#             | ACRダウロードを許可します                       | P4-11 |
|                                      | ※※521#             | ACRダウロードを禁止します                       | P4-11 |
| ACR出荷時設定                             | ※※530#             | ACRデータを初期値にします                       |       |
| ACR初期設定操作                            | ※※540#             | 申込自動発信を開始します                         | P4-10 |
| ★ 自己アドレス                             | ※※60 [自己アドレス番号] ## | 設定 (自己アドレス番号はダイヤル<br>番号またはi・ナンバーの番号) | P5-8  |
|                                      | ※※60##             | 消去                                   | P5-8  |
| ★ サブアドレス                             | ※※61 [サブアドレス] ##   | 設定                                   | P5-11 |
|                                      | ※※61##             | 消去                                   | P5-11 |
| ★ プライベート着信転送先番号                      | ※※62 [転送先番号] ##    | 設定                                   | P5-37 |
|                                      | ※※62##             | 消去                                   | P5-37 |
| 電話料金／通話時間確認                          | ※※630#             | 入力されたポートの累計通話料金                      |       |
|                                      | ※※631#             | 累計通話合計                               |       |
|                                      | ※※632#             | 入力されたポートの直前の<br>通話料金                 |       |
| 通話料金・通話時間の<br>消去                     | ※※640#             | 入力されたポートの通話料<br>金、通話時間の消去            |       |
|                                      | ※※641#             | 通話料金、通話時間の消去                         |       |
| 電話帳の消去                               | ※※650#             | 入力されたポートのプライベート<br>電話帳を消去            |       |
|                                      | ※※651#             | 共通電話帳を消去                             |       |

| 操 作                 | コマンド                                                                                                                                        | 内 容                                                                       | 参照    |
|---------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------|
| 履歴消去                | (*)*(660#)#                                                                                                                                 | 発信履歴の消去                                                                   |       |
|                     | (*)*(661#)#                                                                                                                                 | 着信履歴の消去                                                                   |       |
| 桁間タイマー              | (*)*(71nn#)#<br>nn: 01~10 (秒)                                                                                                               | ダイヤル時の桁間時間を<br>設定時間まで待つ                                                   |       |
| フッキング タイマー          | (*)*(72nn#)#<br>nn: 01~15 / nn×200mS                                                                                                        | フッキング認識時間を設定                                                              | P5-28 |
| 優先着信                | (*)*(730#)#                                                                                                                                 | 使用しない                                                                     | P5-39 |
|                     | (*)*(731#)#                                                                                                                                 | TEL1優先着信                                                                  | P5-39 |
|                     | (*)*(732#)#                                                                                                                                 | TEL2優先着信                                                                  | P5-39 |
| i・ナンバーの設定           | (*)*(740#)#                                                                                                                                 | 使用しない                                                                     | P5-4  |
|                     | (*)*(741#)#                                                                                                                                 | 使用する                                                                      | P5-4  |
| ★ i・ナンバーの<br>着信割り当て | (*)*(750#)#                                                                                                                                 | 契約者回線番号のみ着信する                                                             | P5-4  |
|                     | (*)*(751#)#                                                                                                                                 | 追加番号のみ着信する                                                                | P5-4  |
|                     | (*)*(752#)#                                                                                                                                 | 契約者回線番号、追加番<br>号とも着信する                                                    | P5-5  |
| 呼出音メロディーの消去         | (*)*(76nn#)#<br>nn : 00, 06~15<br>00 : 全消去<br>06~15 : 個別消去                                                                                  | 呼出音メロディサービスで<br>ダウンロードしたメロディ<br>データを消去する。                                 | P4-14 |
| ★ 日付及び時間の設定         | (*)*(80YYYYMMDDhhmm#)#<br>例) 1999年9月30日<br>PM1:41を設定する時<br>YYYY: 西暦 例) 1999<br>MM : 月 例) 09<br>DD : 日 例) 30<br>hh : 時 例) 13<br>mm : 分 例) 41 | 日付及び時間の設定<br><br><br><br><br><br>時は、24時間制です。                              | P1-6  |
| ★ モーニングコールの設定       | (*)*(81hhmmpps#)#<br>hh : 時<br>mm : 分<br>p : 0~2<br>s : 1~3                                                                                 | 時は、24時間制です。<br><br>0:off,1:1day,2:week<br>1:TEL1、2:TEL2、<br>3:ｽﾍﾟｰｶﾞ を鳴らす |       |
|                     | (*)*(81#)#                                                                                                                                  | モーニングコールOFF                                                               |       |
|                     | (*)*(830#)#                                                                                                                                 | 設定時のトキを常にOFF                                                              |       |
| ★ 設定トキの設定           | (*)*(831#)#                                                                                                                                 | 設定時のトキをON                                                                 |       |

|    |                 |
|----|-----------------|
| 1  | ご使用に<br>なる前に    |
| 2  | 設置方法            |
| 3  | 基本操作            |
| 4  | スーパー<br>ACR     |
| 5  | アナログポート<br>の機能  |
| 6  | リモート<br>設定      |
| 7  | パソコンの<br>接続・設定  |
| 8  | トラブル<br>対処法     |
| 9  | リファレンス          |
| 10 | 電子マニュアル<br>について |
| A  | 付 録             |

## アナログ電話機コマンド一覧表

| 操 作          | コマンド                    | 内 容                                  | 参照   |
|--------------|-------------------------|--------------------------------------|------|
| ★ 電話機ベルテスト   | (*) (8) (4) (#) (#)     | TEL1,2のベルを鳴らす。<br>コマンドを入力後受話器を置くと始まる | P1-7 |
| ★ Ring信号の設定  | (*) (8) (5) (0) (#) (#) | Ring信号の周波数15Hz                       | P1-7 |
|              | (*) (8) (5) (1) (#) (#) | Ring信号の周波数20Hz                       | P1-7 |
|              | (*) (8) (5) (2) (#) (#) | Ring信号の周波数25Hz                       | P1-7 |
| ★ スピーカ音量の設定  | (*) (8) (6) (1) (#) (#) | 小さい                                  | P3-6 |
|              | (*) (8) (6) (2) (#) (#) | 標準（初期値）                              | P3-6 |
|              | (*) (8) (6) (3) (#) (#) | 大きい                                  | P3-6 |
| ★ 不在着信履歴の読上げ | (*) (9) (9) (#) (#)     | 不在着信を音声アナウンス                         | P3-3 |
| ★ 設定ポートの選択   | (*) (8) (1) (#) (#)     | TEL1ポートを設定                           |      |
|              | (*) (8) (2) (#) (#)     | TEL2ポートを設定                           |      |

### 電話発信コマンド

| 操 作                   | コマンド                              | 内 容                           | 参照    |
|-----------------------|-----------------------------------|-------------------------------|-------|
| アナログ着信インターセプトビツクアップ機能 | (*) (0) (#)                       | 他のアナログポートの呼出を着信します。           | P3-3  |
| ポート間内線発信              | (*) (1) (#)                       | TEL1へ電話                       | P3-2  |
|                       | (*) (2) (#)                       | TEL2へ電話                       | P3-2  |
| 呼出音メロディセンターへ発信        | (*) (8) (8) (#)                   | メロディセンターへ発信し、ガイドランスに従って選曲します。 | P4-13 |
| 発信者番号通知               | 184 [電話番号]                        | 通知しない                         |       |
|                       | 186 [電話番号]                        | 通知する                          |       |
| ACR判断発信禁止             | 0000 [電話番号]                       | ACRを利用せず発信します。                | P4-8  |
| 短縮ダイヤル                | (*) (0) (1) (#) ~ (*) (4) (0) (#) | 電話帳に登録されている番号をダイヤルします。        | P3-4  |

# 10 電子マニュアルについて

この章では、添付のCD-ROMの中にある電子マニュアルについて参照方法を説明します。電子マニュアルは、TS128NSユーザーズマニュアル通信編として、インターネットに接続する際の設定方法が説明されています。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

フロッピー  
ディスクの機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

## 概 要

インターネットへの接続方法は、電子マニュアルに記載されています。

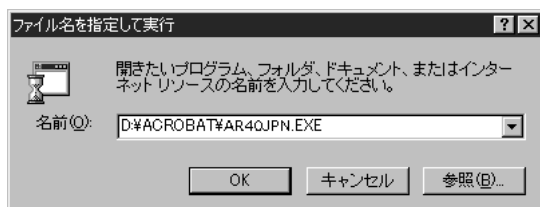
電子マニュアルの内容を参照するためには、Acrobat Reader 4.0をインストールする必要があります。

以下の操作方法をご覧ください、Acrobat Reader 4.0をインストールしてから電子マニュアルをご覧ください。

## Acrobat Reader 4.0 のインストール方法

ここでは、ハードディスクがCドライブ、CD-ROMドライブがDドライブに割り当てられていると仮定して説明します。これと異なる割り当ての場合は、割り当てに応じたドライブ番号に読み替えて操作を行ってください。

- 1 パソコンのCD-ROMドライブに、本製品に添付のCD-ROMをセットします。  
※必ずローカルパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。ネットワーク経由でのインストールはできません。
- 2 Windows のタスクバーから「スタート」ボタンをクリックし、表示されたメニューから「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 3 「ファイル名を指定して実行」ダイアログが表示されます。「名前」欄にD:\ACROBAT\AR40JPN.EXE と入力します。



- 4 「OK」ボタンをクリックすると、Acrobat Reader 4.0 のインストールプログラムが起動します。
- 5 実際のインストール作業にはいる前に、インストール時の注意が記述されたダイアログが表示されます。参照後、「次へ」ボタンをクリックします。
- 6 「使用許諾契約書」ダイアログが表示されます。内容を参照後、同意する場合は「同意する」ボタンを、同意できない場合は「同意しない」ボタンをクリックします。同意できないと、本ソフトウェアを使用することができません。

**7** 「同意する」ボタンをクリックすると、「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。Acrobat Reader 4.0をインストールするドライブ／フォルダを指定します。

※ 必ずローカルパソコンのハードディスクを選択してください。ネットワークドライブへはインストールできません。

**8** 「次へ」ボタンをクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

**9** ファイルのコピーが終了すると、「情報」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、Acrobat Reader 4.0のREADMEファイルを表示してインストールを終了します。

## 電子マニュアルのオープン

ユーザーズマニュアル通信編の電子マニュアルをオープンします。詳しい操作方法につきましては、Acrobat Reader 4.0 のオンラインヘルプを参照してください。

**1** 本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

**2** CD-ROMの「ACROBAT」フォルダ内の「TS128NS.PDF」をダブルクリックするとAcrobat Reader 4.0が起動し、ユーザーズマニュアル通信編の電子マニュアルがオープンされます。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アドベットの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録



## 概 要

インターネットへの接続方法は、電子マニュアルに記載されています。

電子マニュアルの内容を参照するためには、Acrobat Reader をインストールする必要があります。

以下の操作方法をご覧ください、Acrobat Reader をインストールしてから電子マニュアルをご覧ください。

## Acrobat Reader のインストール方法

- 1** Mac本体を起動し、本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。  
※必ずローカルパソコンのCD-ROMドライブにセットしてください。ネットワーク経由でのインストールはできません。
- 2** **Power Macintoshの場合**  
「ACROBAT」フォルダ内の「Power Macintosh用」フォルダ内の「Japanese Reader Installer」をダブルクリックしてください。インストール画面が表示されます。  
**68K Macintoshの場合**  
「ACROBAT」フォルダ内の「68K Macintosh用」フォルダ内の「Reader 3.0aJ Installer」をダブルクリックしてください。インストール画面が表示されます。  
※68K Macintoshでは、Acrobat Reader 4.0 はインストールできませんので、Acrobat Reader 3.0を使用します。
- 3** 「続ける」ボタンをクリックするとインストールの場所が表示されますので、インストールするフォルダを指定してください。指定後、「インストール」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。
- 4** インストールが終了するとメッセージが表示されますので、「終了」ボタンをクリックしてください。

## 電子マニュアルのオープン

TS128NSユーザーズマニュアル通信編の電子マニュアルをオープンします。詳しい操作方法につきましては、Acrobat Reader のオンラインヘルプを参照してください。

- 1** 本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- 2** 「ACROBAT」フォルダ内の「TS128NS.PDF」をダブルクリックするとAcrobat Reader が起動し、TS128NSユーザーズマニュアル通信編の電子マニュアルがオープンされます。

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドヴァンスト  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

# A 付録

この章はユーザーズマニュアルについての補足説明です。

A

付 録

# 「かんたん設定ユーティリティ」について

この製品の添付ソフトウェア「かんたん設定ユーティリティ」を使用すると、この製品の設定をパソコン画面から簡単に行うことができます。

## インストール・起動方法

かんたん設定ユーティリティを使用するには、お使いのパソコンに組み込む必要があります。以下の手順で行ってください。

### 1 設定をおこなう前にこの製品の電源を入れます。

- 何か通信ソフト（データ通信やFAXソフトなど）が起動していればいったん終了させてください。

### 2 付属の「Windows & Macintosh 添付ソフトウェア」CD-ROMをパソコンにセットしてください。

### 3 Windowsの場合

セットしたCD-ROMの中にある「Set\_utl」フォルダをハードディスクにコピーし、「Set\_utl」フォルダの中の「TS128(.exe)」を実行してください。

※1：Windows NT4.0では登録とグループの作成でアイコン登録を、

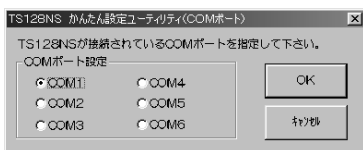
Windows 95/98ではショートカットを作成すると便利です。

※2：この製品のファームウェアのアップデートにともないファイル名が変更になることもあります。

### Macintoshの場合

セットしたCD-ROMの中にある「設定ユーティリティ」フォルダをハードディスクにコピーし、「設定ユーティリティ」フォルダの中の「TS128NS設定」をダブルクリックしてください。

### 4



この製品が接続されているCOMポートを指定して、[OK]ボタンをクリックしてください。

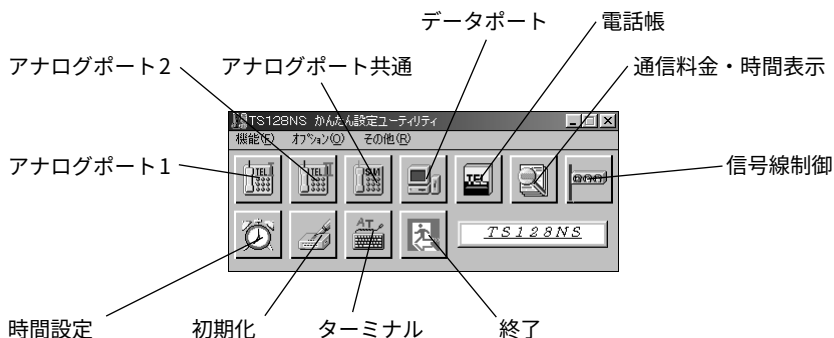
「COMポートがオープンできませんした」というメッセージが表示される場合は、COMポートが他のアプリケーションによって使用されています。他のアプリケーションを終了させてから再度起動してください。



「正常に接続されていません」、「接続を確認してください」等のメッセージが表示される場合は、指定したCOMポートにこの製品が正常に接続されていることを確認してから再度起動してください。

※Macintoshの場合、メニューバーの「オプション」の中の「接続ポート」でポートを設定してください。

## 機能の紹介



設定したい項目のアイコンをダブルクリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。



### アナログポート1・2

各アナログポートの様々な設定を行います。



### アナログポート共通

各アナログポート共通の設定を行います。



### データポート

各種発着信の設定を行います。



### 電話帳

共通電話帳に電話番号の設定を行います。



### 通信料金・時間表示

直前・累計の通信料金と、累計の通信時間を表示します。



### 信号線制御

様々な信号制御や、フロー制御の設定を行います。



### 時間設定

この製品に記憶させる日時とモーニングコールの設定を行います。



### 初期化

すべての設定内容を工場出荷時に戻します。



### ターミナル

通信ソフト「スーパーターミナル」を起動します。



### 終了

「かんたん設定ユーティリティ」を終了します。「設定した内容を保存しますか」と言うメッセージが表示されます。「はい」をクリックしてください。

設定した内容はこの製品の内部メモリに保存されます。

それぞれの設定画面では、最後に[設定する]ボタンをクリックして設定が確定します。設定操作をおこなった後、[キャンセル]ボタンをクリックしたり、表示を閉じてしまうと、設定は確定されません。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

アナログポートの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

# ドライブ名を調べる

## ディスクのドライブ名を調べる

Windows95/98のドライブ名が判らない場合は、以下の方法で調べることができます。

1



「マイコンピュータ」をダブルクリックして開きます。

「マイコンピュータ」は、通常、デスクトップの左上の隅にあります。

2



左記の画面では、(A:)、(C:)、(D:)が、ドライブ名を示します。

付属の「Windows&Macintosh添付ソフトウェア」CD-ROMをドライブに挿入している場合は、次のようなCD-ROMアイコンが表示されます。



3

上記の画面では、  
3.5インチFDのドライブ名は(A:)  
CD-ROMのドライブ名は(D:)  
となります。

# ファームウェアのアップデート

## アップデートプログラムの入手方法

インターネットでこの製品のファームウェアのアップデートプログラム及び設定プログラムを入手することができます。

入手先

<ftp://ftp1.sun-denshi.co.jp/users/scc/>

<http://www.sun-denshi.co.jp/scc/download.htm>

ダウンロードできない方は、ユーザーサポートセンターまでお名前、ご住所とご希望のOSの種類（Windows版またはMacintosh版）をご連絡ください。後日、郵送にてFDまたはEメールにてお送りいたします。

サン電子株式会社SCC事業部

ユーザーサポートセンター

TEL0120-863810

FAX0587-55-3308

Eメールアドレス info-scc@sun-denshi.co.jp

### <注意事項>

バージョンアップ中は、他のアプリケーションソフト等はすべて終了させ、くれぐれもパソコンやTAを操作したり、電源が落ちないようにご注意ください。ファームウェアのバージョンアップに失敗しますと、TAが動作しなくなり、電話も不通となります。

- NEC製PC-9800シリーズでは、DTEポートの速度設定を38400bps以下や19200bps以下で使用しなければならない機種があります。
- WindowsNT4.0では、DTEポート速度を57600bps以下に設定してご使用ください。

1

ご使用になる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパーACR

5

ファクトリリセットの機能

6

リモート設定

7

パソコンの接続・設定

8

トラブル対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアルについて

A

付録

### アップデートの手順

- 1** パソコンから、ダウンロードしたTS128NSアップデートプログラムを起動してください。他のアプリケーションソフト及び常駐アプリケーションソフトは、すべて終了しておいてください。
- 2** 使用許諾画面が表示されます。内容をよく読み、許諾条件に同意する場合は、Yesボタンをクリックしてください。
- 3** この製品が接続されているCOMポートを選択して、OKボタンをクリックしてください。
- 4** アップデートがはじまります。
  - 途中で強制終了したり、TAやパソコン、その他接続されている機器の電源をON/OFFしたり、操作しない様にしてください。
- 5** アップデート終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックしてください。

※アップデートに失敗しますと部品交換を有する修理（有償）が必要となります。  
送付先等については、サポートセンターへお問い合わせください。

# 仕様一覧

|            |           |                                                                                                                                                         |
|------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 機種         |           | TS128NS                                                                                                                                                 |
| 適用回線       |           | INSネット64                                                                                                                                                |
| 適用インターフェース |           | P-MP接続                                                                                                                                                  |
| 起動方式       |           | 常時起動                                                                                                                                                    |
| U点インターフェース |           | 6ピンモジュージャック(RJ-11)×1                                                                                                                                    |
| データポート     | ポート数      | 1ポート                                                                                                                                                    |
|            | インターフェース  | V.24/V.28(RS232C),USB                                                                                                                                   |
|            | 接続手順      | 拡張ATコマンド                                                                                                                                                |
|            | 使用チャネル    | Bチャネル                                                                                                                                                   |
|            | 同期方式      | 同期、非同期(調歩同期)                                                                                                                                            |
|            | 速度変換方式    | JT-V.110準拠                                                                                                                                              |
|            | 非同期(bps)  | 4.8K/9.6K/19.2K/38.4Kbps                                                                                                                                |
|            | 対応プロトコル   | PIAFS準拠                                                                                                                                                 |
|            | 通信速度      | 32Kbps                                                                                                                                                  |
| アナログポート    | 同期通信速度    | 64Kbps/128Kbps(バルク転送時)                                                                                                                                  |
|            | 通信方式      | 同期-非同期PPP変換、Multi Link PPP(128K時)、BACP(128K時)                                                                                                           |
|            | ポート数      | 2ポート                                                                                                                                                    |
|            | 受信ダイヤル信号  | PB信号                                                                                                                                                    |
|            | 供給電圧      | 48V(無負荷時)                                                                                                                                               |
|            | サービス機能    | i・ナンバー(※)、自己アドレス、サブアドレス、フレックスホン(※)、ダイヤルイン(※)、グローバル着信(※)、ナンバーディスプレイ対応(※)、着信なりわけ機能対応(※)、なりわけサービス(※)、INSボイスワープ(※)、ボイスワープセレクト(※)、内線通話/内線転送、疑似フレックスホン、疑似なりわけ |
|            | 端末速度(非同期) | 1.2K/2.4K/4.8K/9.6K/19.2K/38.4K/57.6K/115.2K/230.4Kbps                                                                                                  |
|            | 使用電源      | DC12V(ACアダプタ)<br>(入力:AC100V 50/60Hz 20VA、出力:DC12V 830mA)                                                                                                |
|            | 消費電力      | 約7W                                                                                                                                                     |
| 外形寸法       |           | 108mm(D)×38.2mm(W)×145mm(H)                                                                                                                             |
| 重量         |           | 約250g                                                                                                                                                   |
| 環境条件       |           | 温度:0~40℃/湿度:25~90%(結露なきこと)                                                                                                                              |

(※)はNTTのサービスのため、NTTとの契約が必要(有料)となります。

詳しくはNTTにお問い合わせください。

- 1  
ご使用になる前に
- 2  
設置方法
- 3  
基本操作
- 4  
スーパーACR
- 5  
プログラムの機能
- 6  
リモート設定
- 7  
パソコンの接続・設定
- 8  
トラブル対処法
- 9  
リファレンス
- 10  
電子マニュアルについて



# 索引

## 英文字

128Kbps.....ii,1-8  
ACR.....2-2,4-9  
ACアダプタ.....1-3,2-4  
DATA.....2-2  
DTE.....2-3  
FG端子.....2-3  
INSボイスワープ...ii  
i・ナンバー.....5-2  
LINE.....2-3  
Mac OS 8.1.....7-13  
PW.....2-2  
RING信号.....1-7  
RS232C.....1-3  
TEL1.....2-2  
TEL2.....2-2  
USB.....ii,1-2,2-3

## あ行

アップデート.....A-6  
アップデートプログラム  
.....A-5  
アナログ機器.....2-10  
アナログポート.....iii,2-3,2-7  
インストール.....A-2  
インターセプトピックアップ  
.....3-3  
お申込票.....1-4,1-5  
音声ガイド  
.....5-26

## か行

回線.....1-8,4-8  
「かんたん設定ユーティリティ」  
.....ii,A-2  
疑似キャッチホン  
.....5-18  
疑似三者通話.....5-21  
疑似着信転送.....5-26  
疑似なりわけ.....5-34  
極性反転スイッチ...2-3  
契約者回線番号.....5-2

## さ行

サブアドレス番号  
.....6-5  
正面図.....2-2  
時間.....1-6  
受話音量.....9-3  
初期設定.....4-10  
新電電.....4-7  
スーパーACR.....4-2  
接続.....2-4~2-10,7-8,7-15  
設定コマンド.....9-2  
設定例.....5-4,5-5,5-8,5-9

## た行

ダイヤルイン番号...5-6  
ターミナルアダプタ  
.....1-2,1-3  
ダウンロード.....4-13,4-14  
短縮ダイヤル.....3-4  
端末速度.....1-8

通信費用 ..... 1-8  
 通話相手 ..... 5-16  
 通話料金 ..... 4-9  
 データ送信 ..... 4-6  
 デジタルモード ..... 4-12  
 転送先番号 ..... 5-37  
 電話帳 ..... 3-4  
 電話発信コマンド ... 9-6

## な行

内線通話 ..... 3-2  
 なりわけサービス...ii  
 ナンバーディスプレイ  
 .....iii,2-10  
 日本テレコム..... 4-4,4-10

## は行

バージョンアップ...ii  
 背面図 ..... 2-3  
 発信者番号 ..... 6-4  
 日付 ..... 1-6  
 不在着信 ..... 3-3  
 フラッシュROM.....iii  
 フレックスホン.....ii  
 ベルテスト ..... 1-7  
 ボイスワープ.....ii,5-35

## ま行

モジュラーケーブル  
 ..... 1-3  
 モニタランプ..... 2-2  
 申込書 ..... 4-4,4-5

## や行

呼出回数 ..... 5-25

## ら行

リソースBOD ..... 5-40

1

ご使用に  
なる前に

2

設置方法

3

基本操作

4

スーパー  
ACR

5

アドバンス  
の機能

6

リモート  
設定

7

パソコンの  
接続・設定

8

トラブル  
対処法

9

リファレンス

10

電子マニュアル  
について

A

付 録

